大野城トレイル
～自然と歴史の散策路～
基本計画

平成２７年３月
大野城市

目　次

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
［ 背景と目的 ］ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
［ 各種プロジェクトとの連携 ］ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
［ 計画の範囲 ］ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
［ トレイル形成の目指す方向 ］ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
［ トレイルの追加・見直し ］ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第 1 章　大野城市の自然・文化・歴史 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1-1 自然 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1-2 文化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
1-3 歴史 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
1-4 公共施設等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
1-5 プロジェクト動向および既存ルート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

第２章　計画のコンセプト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
2-1 コンセプト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
2-2 トレイル形成の方向性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

第３章　トレイルの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
3-1 テーマの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
3-2 テーマ毎のトレイルのルートの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

第４章　トレイルの整備計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
4-1 トレイルの基本的な考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
4-2 トレイルを結ぶ：ハード事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
4-3 トレイルから伝える：ソフト事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・57

第５章　整備プログラムの検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
5-1 整備計画（スケジュール） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・58

資　料　市民からの意見募集 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・60

はじめに

[背景と目的]

●背景

・本市は、昭和 47 年に市制を施行し、以来、コミュニティの基盤づくりに精力を注いできました。それから数十年を経た今、人口（世帯数）は国勢調査で昭和 45 年 33,818 人（8,951 戸）から平成 22 年 95,087 人（36,778 戸）に増加しています。これは人口で約３倍、世帯数で約 4 倍となります。市外から移り住んだ人々も多く、本市が福岡都市圏に位置する県 下有数の中堅都市として成長したことを物語っています。

・中堅都市として成長した本市において、都市基盤の整備については概ね完了していますが、現在は西鉄天神大牟田線の高架事業と市街地周辺での都市基盤整備事業の推進が図られています。新しいまちのかたちを見据えて、中心市街地の賑わいづくりと、暮らしやすく、人にやさしい都市環境の整備が求められています。

・一方、都市化の進展や人口の流動は、本市に人間関係の希薄化をもたらしたとも言われています。人と人のつながりを大切にするコミュニティ都市への更なる一歩として、自助・共助・公助による新しいコミュニティづくりを進めるとともに、これを支える礎ともなる、市民のふるさと意識を醸成するまちづくりを推進していくことが求められています。

●目的

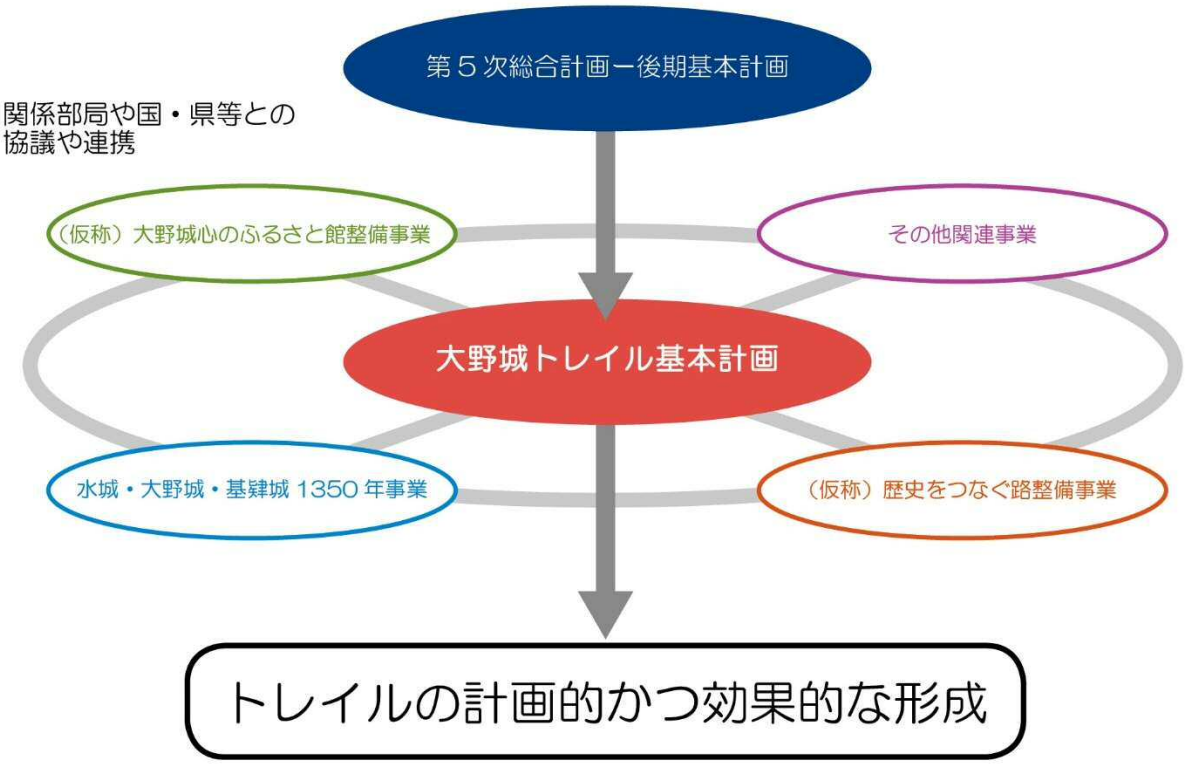
・本計画は、にぎわいとやさしさをもったまちづくりを推進するとともに、市民のふるさと意識の醸成にも貢献する「ふるさと大野城の個性を輝かせるトレイルの形成」を目的とします。

「ふるさと大野城の個性を輝かせるトレイルの形成」

図：ふるさと大野城の個性を輝かせるトレイル形成のイメージ

[各種プロジェクトとの連携]

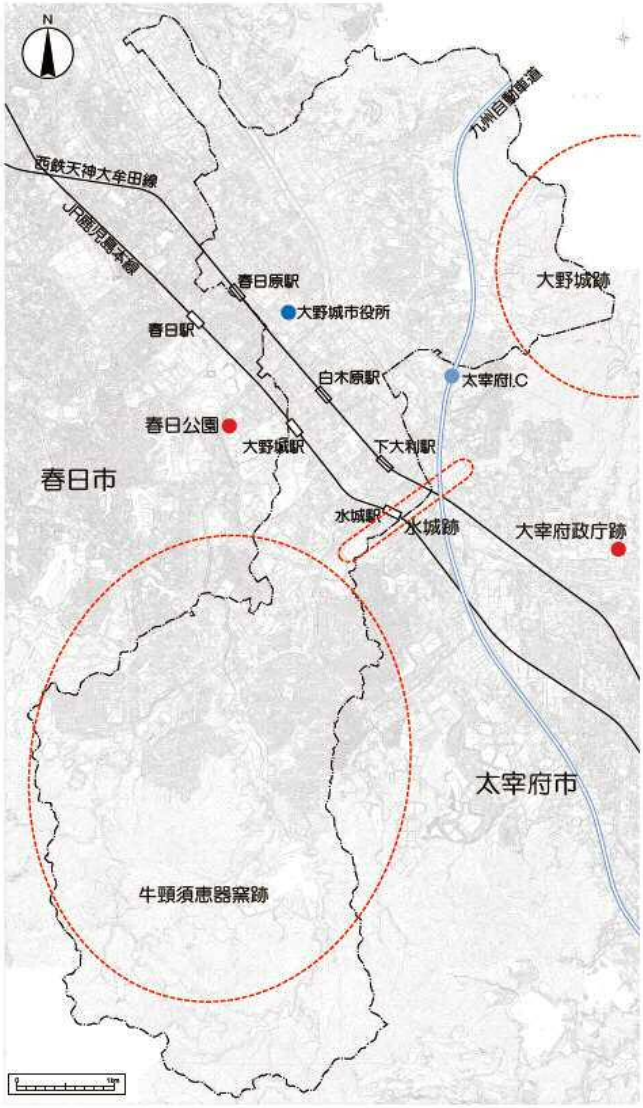
- 本計画は、第５次大野城市総合計画の後期基本計画に位置づけられる取り組みです。
- 後期基本計画には、「テーマ３：輝くまちの個性」の中に、「新しいまちのかたちを見据えたにぎわいとやさしさをもったまちづくり」に向けた取り組みとして「駅などを基点として、歩きながら地域の自然・文化・歴史などを楽しめる散策路「大野城トレイル」基本計画の策定と整備」を位置づけています。
- 一方、後期基本計画には、同じく「テーマ３：輝くまちの個性」の中に、「まちの魅力向上」に向けて「（仮称）大野城心のふるさと館整備事業」、「（仮称）歴史をつなぐ路整備事業」、「水城・大野城・基肄城 1350 年事業」を位置づけています。これら事業は、歴史を接点として本市の個性を輝かせる取り組みとして、「(仮称) 大野城トレイル」と深い関わりを有しています。
- 本市は、「ふるさと大野城の個性を輝かせるトレイルの形成」にあたって、「（仮称）大野城心のふるさと館整備事業」、「（仮称）歴史をつなぐ路整備事業」、「水城・大野城・基肄城 1350 年事業」やその他関連事業（牛頸須恵器窯跡整備活用計画、水城跡整備事業基本計画、（仮称）ふるさと大野城「まちの活力」創出基本計画等）を推進する関連部局や国・県等との協議や連携に取り組みます。
- これら各種プロジェクト等と連携することで、市内外に点在する自然・文化・歴史を広範囲 に結ぶトレイル・ネットワークを効率的かつ効果的に実現します。



図：計画の位置づけ

[計画の範囲]

・本計画の対象範囲は、市全域とします。
・なお、本計画では、市内外の広範囲に点在する自然、文化、歴史を結ぶトレイルの形成を見据え、場合によっては計画対象に隣接する周辺市町を含み、必要に応じて当該市町に理解と協力を求めます。



図：計画の範囲

[トレイル形成の目指す方向]

・「ふるさと大野城の個性を輝かせるトレイルの形成」に向けては、より多くの人々に取り組みの内容を知ってもらい、実際に歩き、本市固有の自然・文化・歴史に現地で触れてもらうことが有効と考えます。
・一方、本市は、福岡都市圏に位置する中堅都市に成長した現在、市内に住み続けてきた市民だけでなく、市外から移り住んだ市民も多く、加えて市外から多くの人々が日々訪れています。こうした人々のふるさと大野城に対する関心は多種多様です。より多くの人々にトレイルに対して関心を持ってもらい、活かしてもらうためには、様々な人々の利用に配慮した取り組みとしていくことも求められます。
・ふるさと大野城の個性を輝かせるトレイルは、ふるさと大野城の個性を多方面（生涯学習、教育、健康増進、観光交流等）に周知、活用することを目的とし、その実現を目指します。

[トレイルの追加・見直し]

・本市は、「（仮称）大野城心のふるさと館整備事業」、「（仮称）歴史をつなぐ路整備事業」、「水城・大野城・基肄城 1350 年事業」が推進され、（仮称）大野城心のふるさと館の開館後は市民活動が更に活発になることが予想されます。
・本計画では、今回のトレイル形成がふるさと大野城の新たな魅力発見や市民活動の活性化を誘発し、市民レベルによるトレイルの追加・見直しが行われることを見据えています。

第 1 章　大野城市の自然・文化・歴史

1-1 自然

- 本市は北東部に大城山（四王寺山）や乙金山、南部には背振山系の牛頸山をはじめとする小連山が連なります。これらの山並みは、市街地の背景を構成し、市民の日々の生活に潤いを与えています。また、北東部の大城山（四王寺山）や南部の牛頸山の麓には総合公園やレクリエーション施設が立地しており、多くの市民の憩いの場、健康増進の場として活用されています。また、市街地の各所にも、市民に身近な公園が点在しており、生活 の中で気軽に自然と触れられる環境が整っています。
- さらに、市内に水源を有する牛頸川、平野川、川久保川が博多湾に注ぐ御笠川に市内で合流します。これら河川等や三兼池・日の浦池をはじめとするため池の一部が親水空間として整備され、市民の憩いの場として親しまれています。
- 牛頸川の上流には、河川沿いに農地が広がり、かつて農村地帯であった本市の風景をしのばせています。
- 上記の他、市内には、古くから市民に親しまれてきた大野小学校のセンダンの木、薬師の杜、御笠の森といった貴重な自然が点在しています。これらは市指定天然記念物等として保全され、身近な緑として多くの人々に親しまれています。

四王寺山

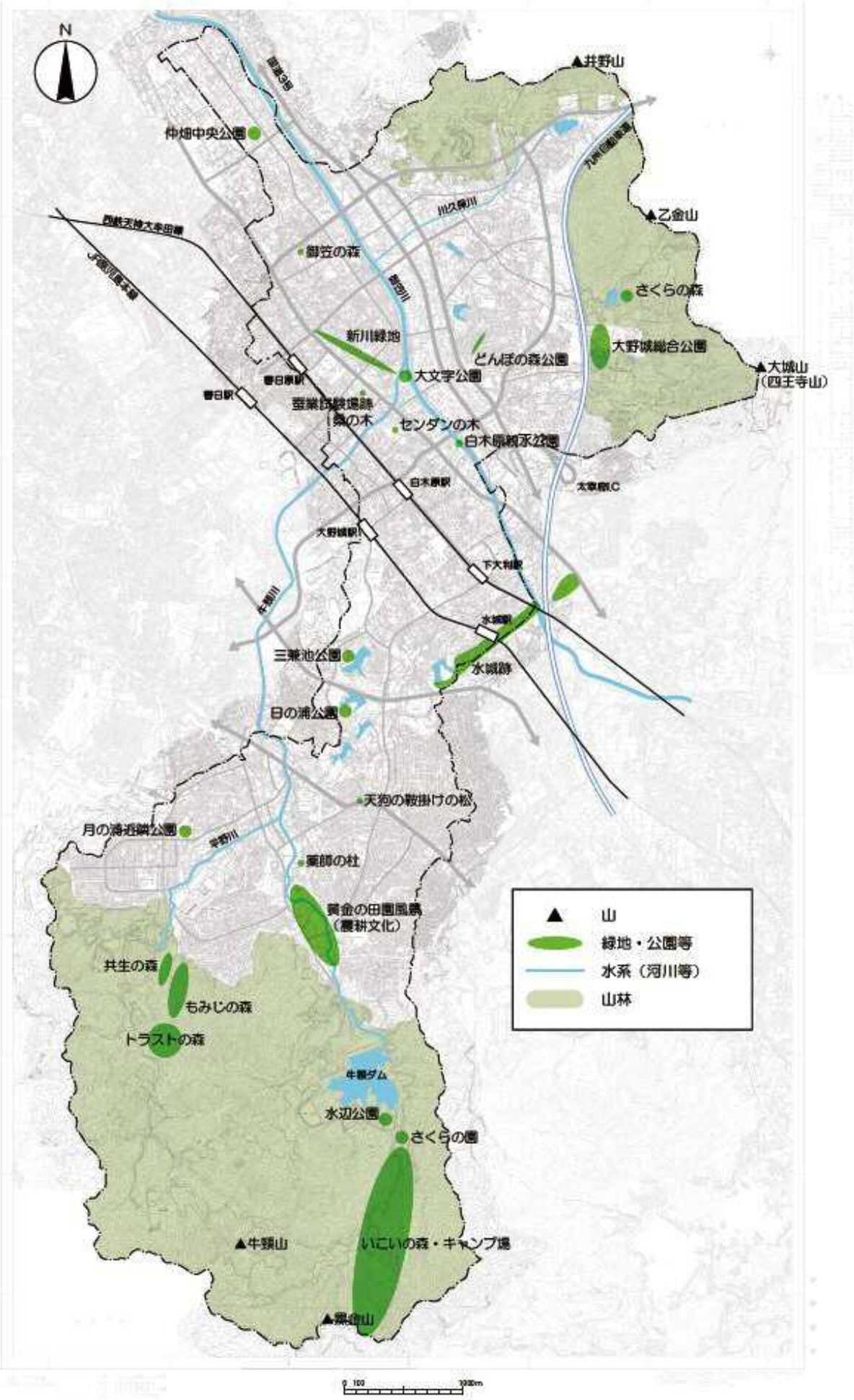
牛頸山

三兼池公園

センダンの木

御笠川

牛頸川


N
▲井野山
仲畑中央公園
▲乙金山
御笠の森
さくらの森
新川緑地
どんぼの森公園
大野城総合公園
▲大城山
（四王寺山）
大文字公園
春日原駅
春日駅
センダンの木
白木原親水公園
白木原駅
大野城駅
下大利駅
水城駅
三筑池公園
水城跡
日の浦公園
天狗の鞍掛けの松
月の浦近隣公園
薬師の杜
黄金の田園風景
（農耕文化）
共生の森
もみじの森
トラストの森
牛頸ダム
水辺公園
さくらの園
▲牛頸山
いこいの森・キャンプ場
▲猫峰山
山
緑地・公園等
水系（河川等）
山林

図：大野城市の自然

1-2 文化

・本市は、昭和 25（1950）年頃まで、河川等やため池からの取水により平野部を中心に水田が広がり、この中に集落が点在するという農村の風景が広がっていたところです。市内は、近世の村等に由来する「畑詰・仲島・山田・筒井・中・乙金・瓦田・白木原・下大利・上大利・牛頸・雑餉隈」の大字に分けられ、その構成は現在の市街地にも受け継がれています。各地にはかつての農村集落としての名残を留める神社等も立地し、五穀豊穣や収穫感謝を祈る春ごもり、夏ごもり、秋ごもり、宮座などの伝統的な年中行事が市民により継承されています。

・戦後、急速に宅地開発が進み、福岡都市圏のベッドタウンとしての市街地が整えられていく中で、昭和 42 年に新住民と旧住民の融和を目的とする「まどか運動」が提唱されました。以降、まどか運動を基盤としたスポーツ大会、４つのコミュニティの共同による「おおの山城大文字まつり」などが開催され、新しい文化として定着しています。

平野神社

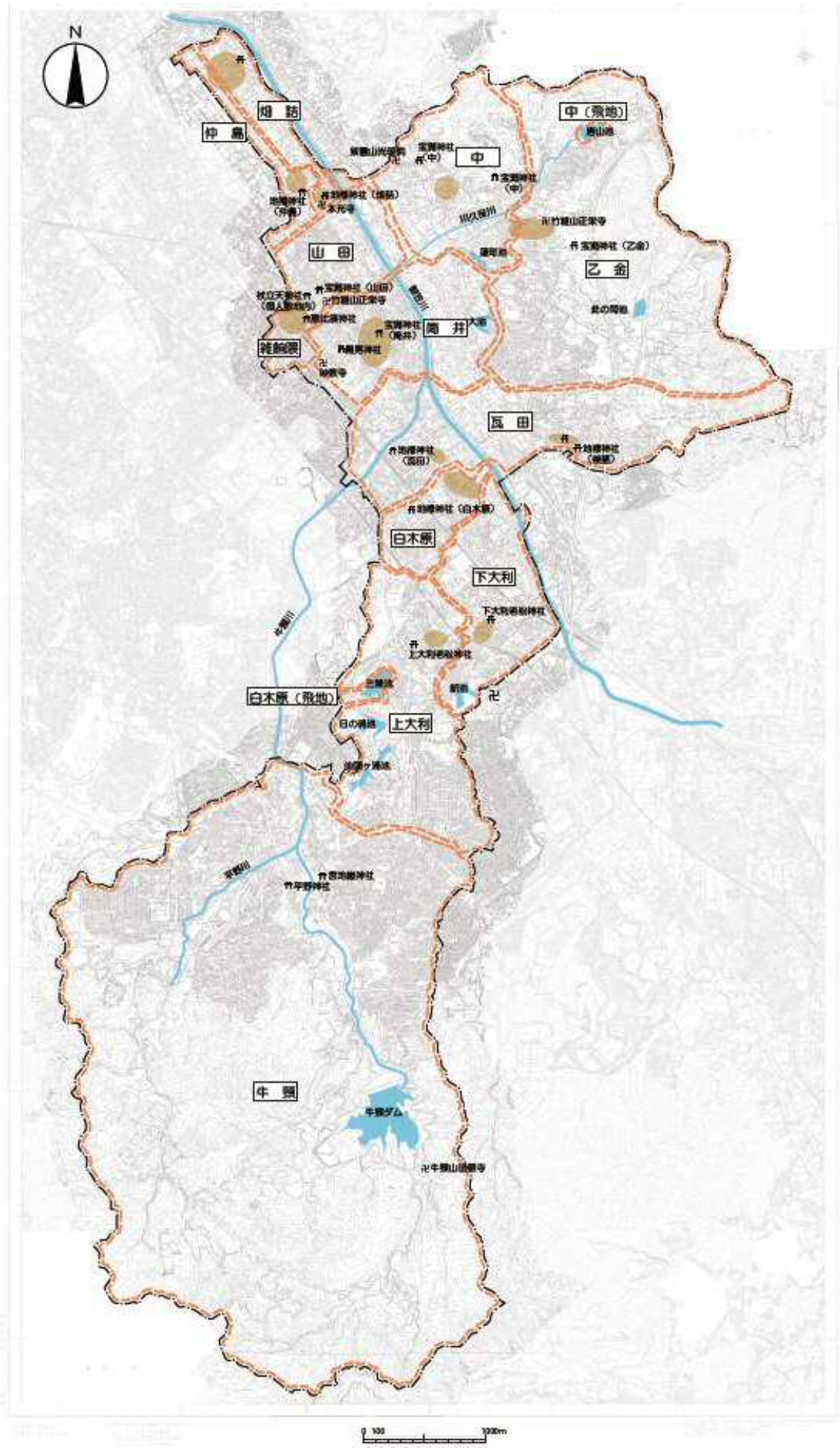
下大利老松神社

まどかリンピック

おおの山城大文字祭り

いこいの森ロードレース

まどかフェスティバル



図：大野城市の文化

1-3 歴史

- 本市は古くから御笠川や牛頸川などの水源に恵まれ、その周辺で人々の生活が営まれてきました。古墳時代には須恵器生産が盛んに行われ、牛頸山の麓では西日本最大規模の「牛頸須恵器窯跡」が発見され、6 世紀半ばから 9 世紀半ばにかけて 500 基以上の窯が営まれた とされています。
- 「水城」は白村江の戦い（663 年）の翌年の天智 3（664）年に築かれた人工の土塁です。白村江の戦い後、唐と新羅の攻撃から大宰府を防衛するために築かれ、その規模は長さ 1.2km、幅 80m、高さ 10m を誇ります。
- 本市の名前の由来となっている「大野城」は天智 4（665）年に現在の四王寺山に築城されたわが国最古の朝鮮式山城です。水城と同様に大宰府防衛のために築かれました。総延長約 8km の土塁や石塁の内側には食糧庫や武器庫など約 70 棟の建物が建てられたとされ、現在は礎石や石垣がその名残をとどめています。このように水城や大野城の築造により古代の大野城周辺は大宰府防衛の要所となりました。
- 中世には唐山城や不動城といった山城が築かれ軍事的性格を強め、近世には福岡藩 の政策のもと農村としての性格を強めていきました。
- 現在では特別史跡である大野城跡、水城跡をはじめ、牛頸須恵器窯跡等の多くの文化財が守り伝えられています。その他にも、市街地の中には太宰府往還や新川跡、宮添井堰の碑など、まちの成り立ちを今に伝える歴史的な資源が点在しており、市民をはじめ多くの人々に親しまれています。

大野城跡

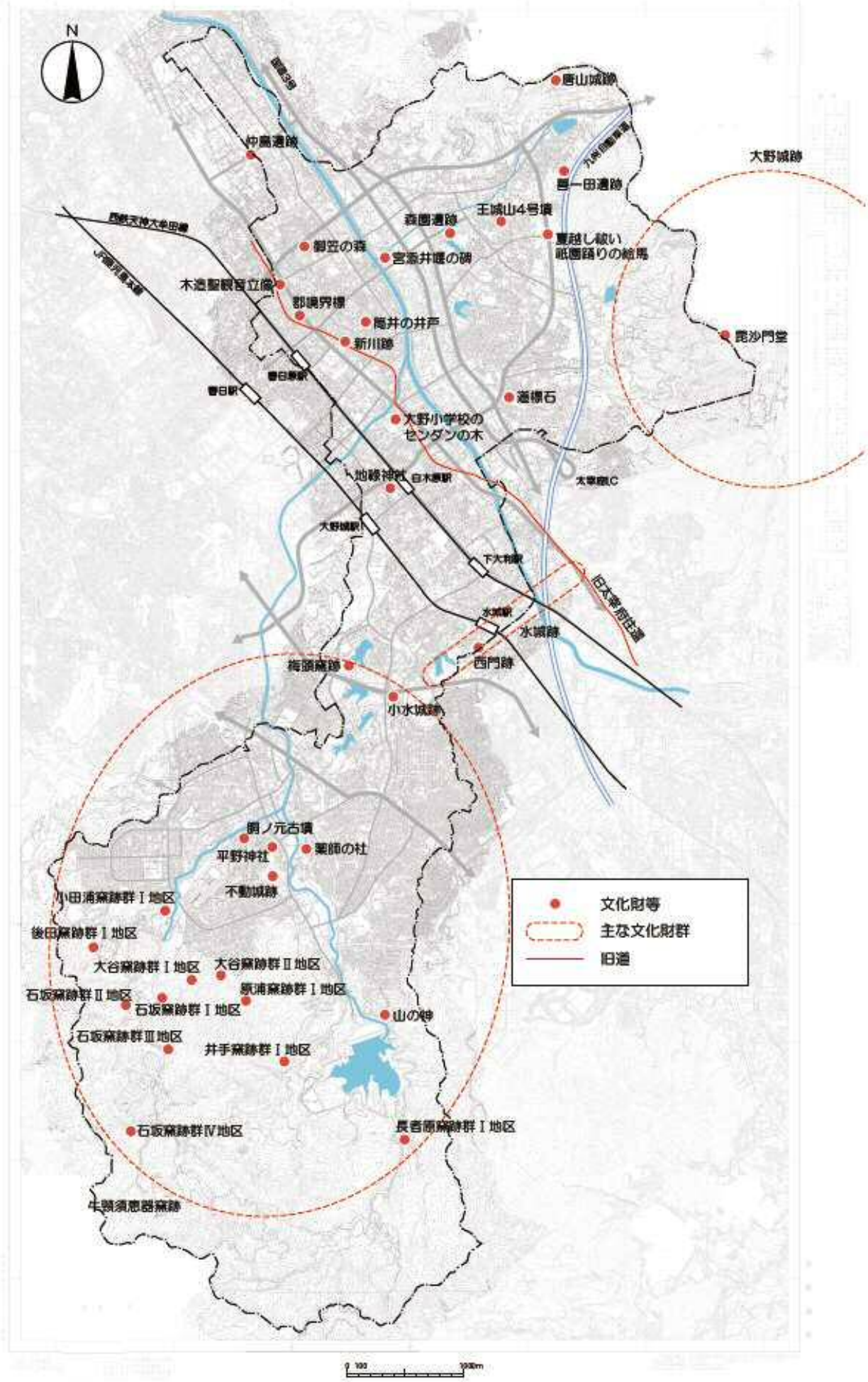
水城跡

小田浦窯跡

梅頭窯跡

宮添井堰の碑

御笠の森


N
唐山城跡
仲島遺跡
大野城跡
善一田遺跡
王城山4号墳
森園遺跡
夏越し祓い
紙園踊りの絵馬
御笠の森
宮添井堰の碑
木造聖観音立像
郡境界標
篠井の井戸
新川跡
昆沙門堂
春日原駅
春日駅
道標石
大野小学校の
センダンの木
地蔵神社
白木原駅
太宰府IC
大野城駅
下大利駅
旧太宰府街道
水城駅
水城跡
西門跡
梅頭窯跡
小水城跡
朋ノ元古墳
平野神社
薬師の社
不動城跡
小田浦窯跡群Ⅰ地区
後田窯跡群Ⅰ地区
大谷窯跡群Ⅰ地区
大谷窯跡群Ⅱ地区
原浦窯跡群Ⅰ地区
石坂窯跡群Ⅱ地区
石坂窯跡群Ⅰ地区
山の神
石坂窯跡群Ⅲ地区
井手窯跡群Ⅰ地区
石坂窯跡群Ⅳ地区
長者原窯跡群Ⅰ地区
牛頸須恵器窯跡
文化財等
主な文化財群
旧道

図：大野城市の歴史

1-4 公共施設等

・本市は、まどかぴあをはじめ文化活動の場として多くの市民に活用される公共施設が充実しています。
・まどかパークや大野城いこいの森などの公共施設は、市民のレクリエーションの場や市民イベントの会場として活用されています。
・また、市内には東・中央・南・北コミュニティセンターがあり、各地区のコミュニティ活動の拠点として親しまれています。
・他方、西鉄春日原駅、白木原駅、下大利駅の駅前や南ヶ丘地区には商店街があり、市民の日常生活を支えるだけでなく、定期的に様々なイベントも開催され、多くの人でにぎわいます。

市役所

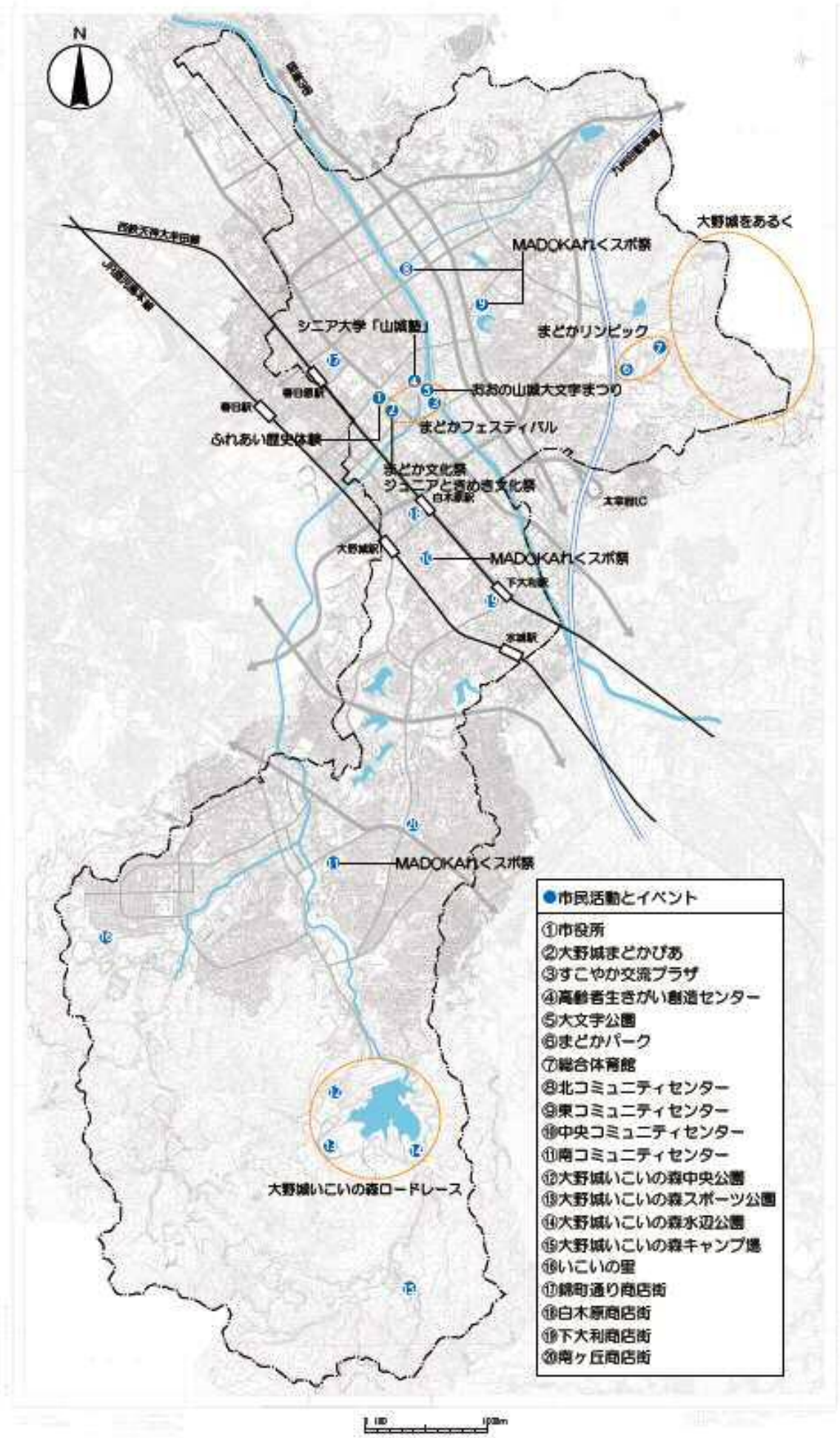
総合公園

コミュニティセンター

まどかぴあ

シャッターアート（錦町通り商店街）

ハロウィンパーティー（下大利商店街）

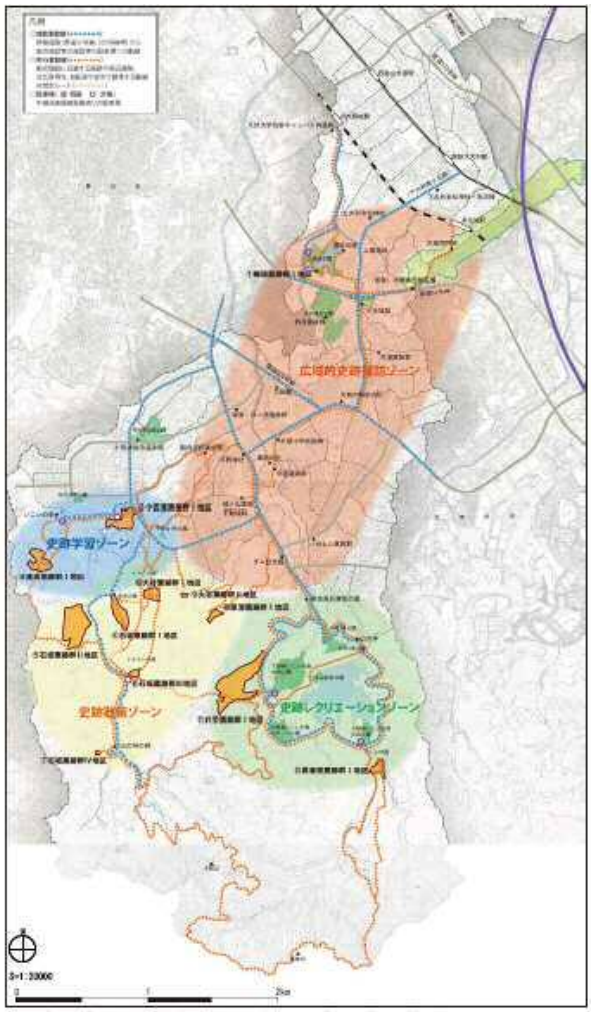

N
大野城をあるく
MADOKAれくスポ祭
シニア大学「山城塾」
まどかリンピック
おおの山城大文字まつり
まどかフェスティバル
ふれあい歴史体験
まどか文化祭
ジュニアと語り合う文化祭
MADOKAれくスポ祭
MADOKAれくスポ祭
大野城いこいの森ロードレース
●市民活動とイベント
①市役所
②大野城まどかぴあ
③すこやか交流プラザ
④高齢者生きがい創造センター
⑤大文字公園
⑥まどかパーク
⑦総合体育館
⑧北コミュニティセンター
⑨東コミュニティセンター
⑩中央コミュニティセンター
⑪南コミュニティセンター
⑫大野城いこいの森中央公園
⑬大野城いこいの森スポーツ公園
⑭大野城いこいの森水辺公園
⑮大野城いこいの森キャンプ場
⑯いこいの里
⑰錦町通り商店街
⑱白木原商店街
⑲下大利商店街
⑳南ヶ丘商店街

図：公共施設等

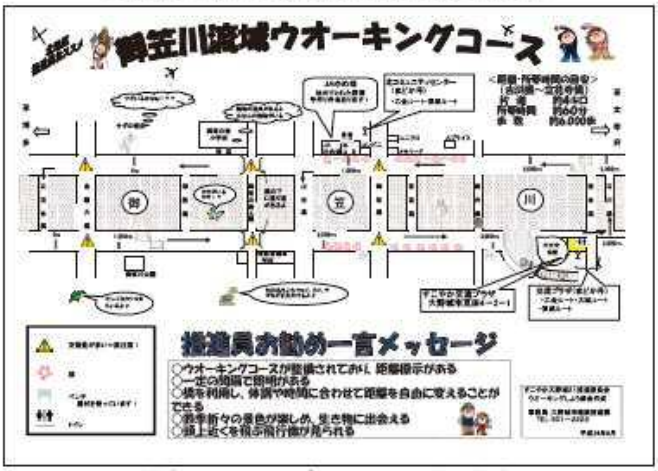
1-5 プロジェクト動向および既存ルート

- 本市では、現在、「（仮称）歴史をつなぐ路整備」、「水城跡整備」、「牛頸須恵器窯跡整備」といった主要な文化財の保存・活用を目的とした整備が進められており、各整備では、周辺の主要な史跡を巡るルート整備が計画されています。
- 本市の保健部局を中心として、御笠川、牛頸川、川久保川を巡る「健康ウォーキングコース」を設定し、市民の健康づくりを推進しています。
- また、市街地では、「（仮称）大野城心のふるさと館」の建設や「西鉄天神大牟田線連続立体交差事業」の整備が進められており、新たな観光拠点としての確立や公共交通の利便性の向上が期待されています。

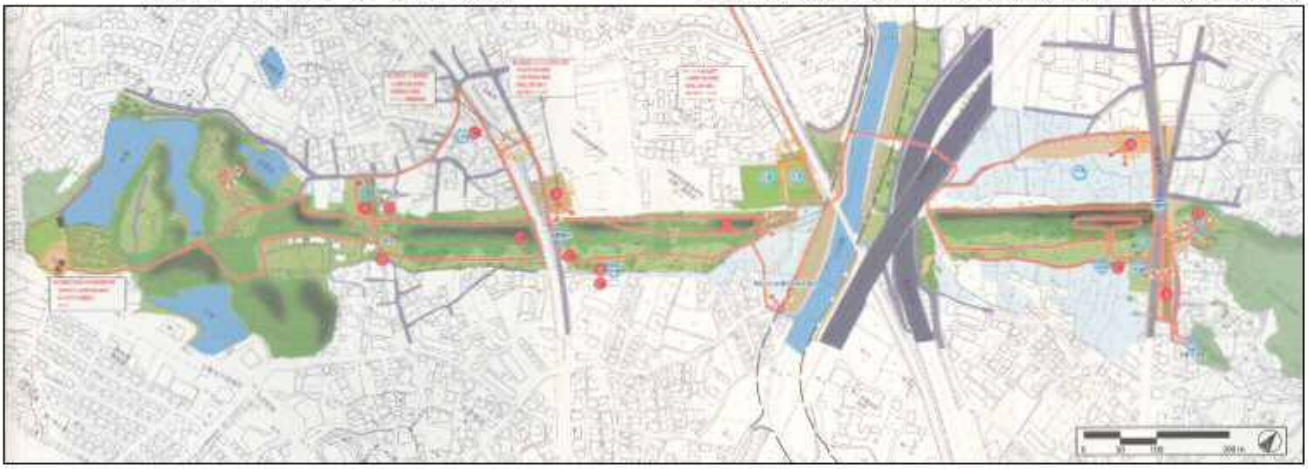
歴史をつなぐ路整備計画のコース
（（仮称）歴史をつなぐ路整備計画概要版より）



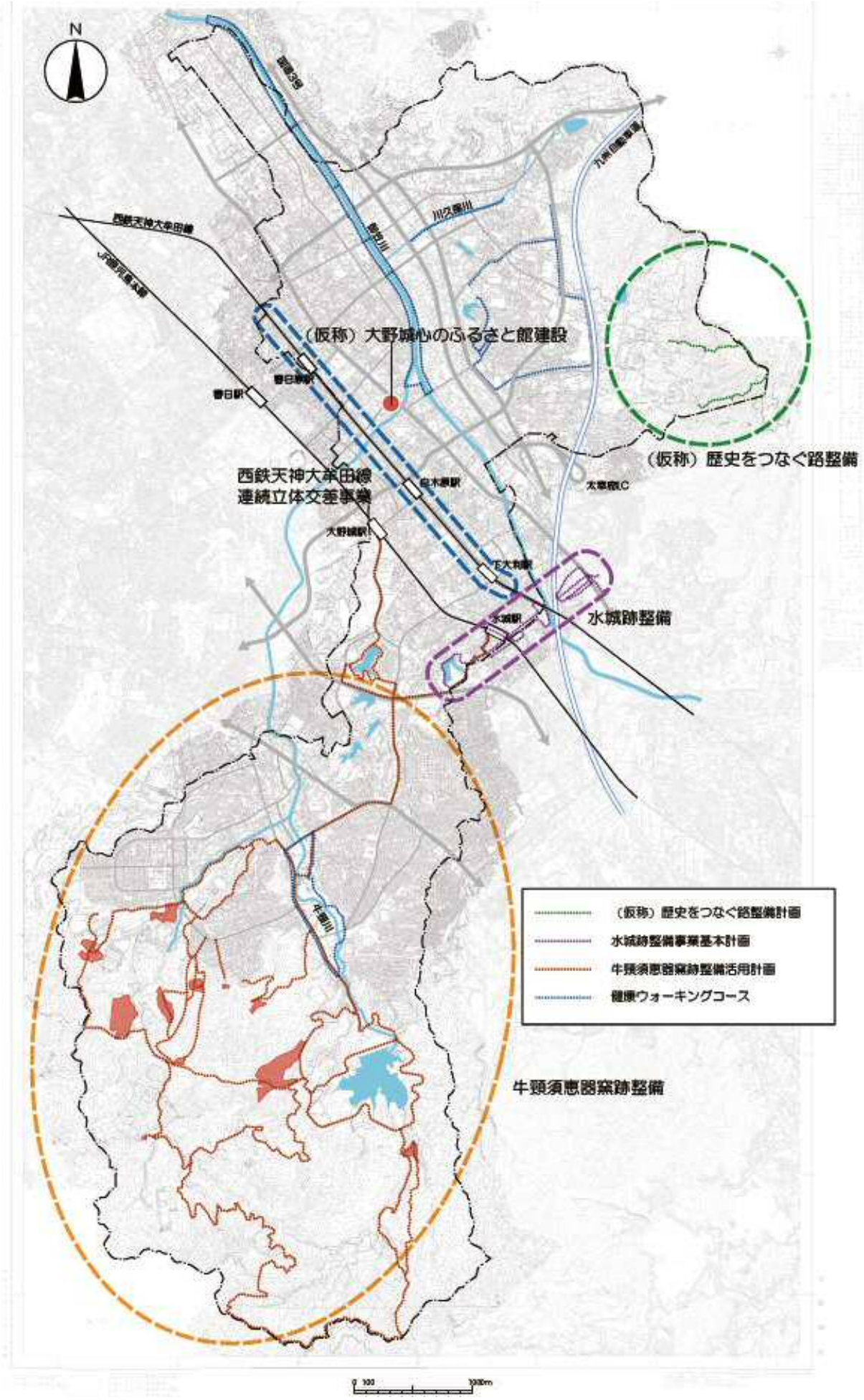
牛頸須恵器窯跡の動線計画（牛頸須恵器窯跡整備活用計画より）



健康ウォーキングコース（御笠川流域）



水城跡長期整備後の回遊動線（水城跡整備事業基本計画・基本設計計画書より）



図：プロジェクト動向および既存ルート

第２章　計画のコンセプト

2-1 コンセプト

・本計画は、「ふるさと大野城の個性を輝かせるトレイルの形成」を掲げ、にぎわいとやさしさをもったまちづくりを推進し、市民のふるさと意識の醸成に貢献するトレイルの形成を目的としています。また、その実現に向けて、「ふるさと大野城の個性を多方面（生涯学習、教育、 健康増進、観光交流等）に周知、活用しやすいトレイルの形成」としています。

・本市は、ふるさと大野城の個性を輝かせるトレイルの形成に向けて、より多くの人々に触れる機会や場を提供し、その魅力に触れる喜びを現地で体感してもらうことが重要と考えます。加えて、その効果を高めるには、本市固有の自然・文化・歴史を介して、人々の出会いや交流を促すことが有効であり、その時に得られた感動が、市民にふるさと大野城に向き合う喜びを提供し、来訪者には本市に訪れてよかったと思える満足感を提供することに繋がると考えます。

・本計画では、トレイル形成のコンセプトに「本市固有の自然・文化・歴史を介して、人々が笑顔で触れ合う交流軸の形成」を設定します。自然・文化・歴史を結び、生涯学習、教育、健康増進、観光交流等の多方面に活かされることで、人々の出会いや交流が育まれるトレイルの形成を「ふるさと大野城を巡る自然と歴史の散策路」として実現します。

2-2 トレイル形成の方向性

・「自然・文化・歴史を介して、人々が笑顔で触れ合う交流軸」として、多方面（生涯学習、教育、健康増進、観光交流等）に活かされる「自然と歴史の散策路」の実現に向けて、その方向性を以下に設定します。

（1）テーマ

・テーマとは、市内を巡る人々に、現地で感じて欲しい本市を語るうえで欠かせないふるさと大野城の個性です。
・テーマの設定にあたっては、生涯学習、教育、健康増進、観光交流等への活用に配慮した内容に心がけます。

（2）トレイル

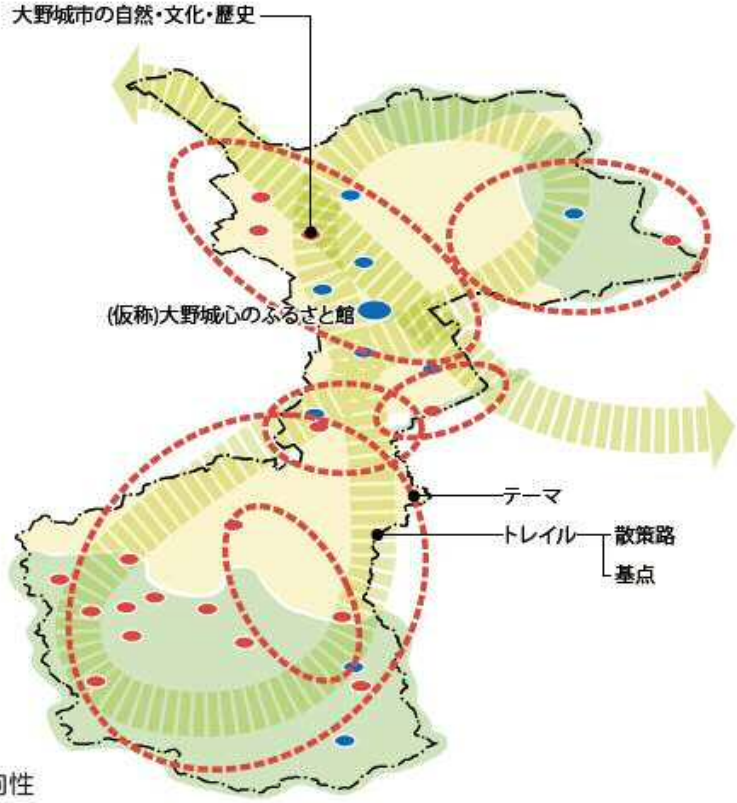
・トレイルのテーマに沿って、人々が巡り、触れ合う「散策路」と、トレイルを巡る人々が集まり、利用できる「基点」をバランスよく配置します。

1）散策路

・「散策路」は、ふるさと大野城の自然・文化・歴史を楽しむことができる道路や遊歩道等を結ぶルートです。
・散策路は、生涯学習、教育、健康増進、観光交流等への活用を考慮し、トレイルの連続性を高める案内誘導の充実や環境整備等に取り組みます。

2）基点

・トレイルの「基点」は、トレイルを巡る人々が、基本的に、自由に利用できる施設等です。本計画では、市内の主要な駅を含む公共施設等を位置づけます。
・基点に位置づけた公共施設等は、トレイルマップの配布、トレイルを巡るイベント開催や観光ボランティア育成等、より多くの人々にふるさと大野城の個性を伝える情報発信や施設利用等の場とします。

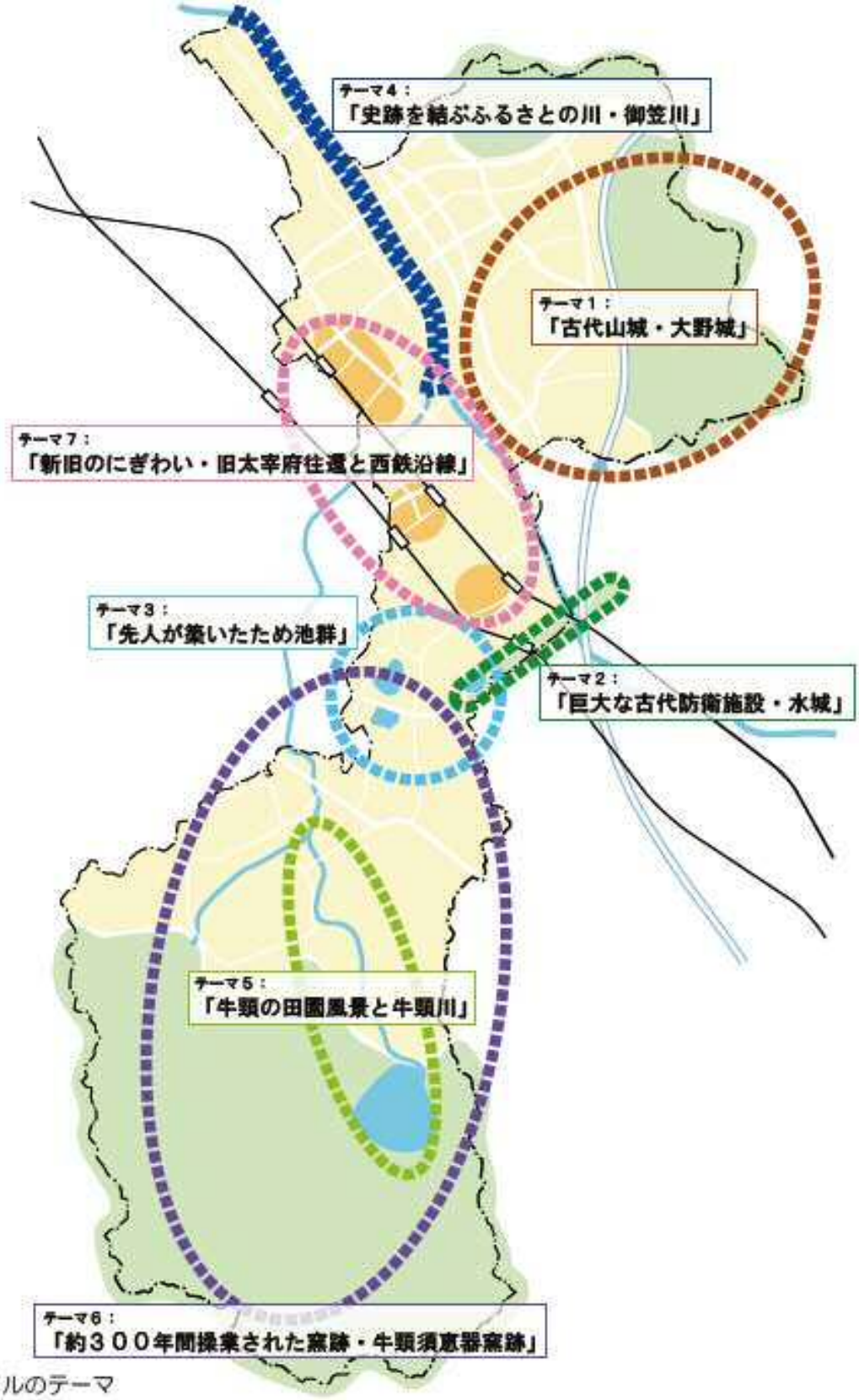


図：トレイル形成の方向性

第３章　トレイルの設定

3-1 テーマの設定

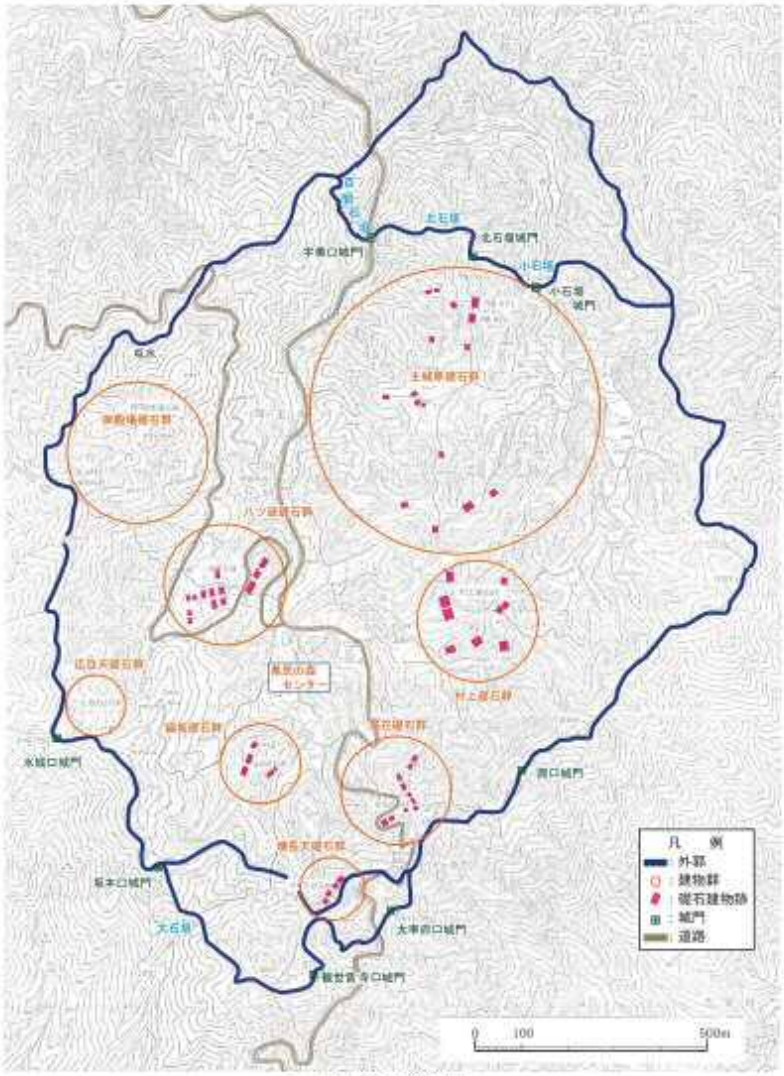
・ふるさと大野城の個性を輝かせるトレイルの形成を目指し、今回、ふるさと大野城の魅力的な個性の中から、トレイルのテーマを７つ設定します。



図：トレイルのテーマ

（1）テーマ１：「古代山城・大野城」

- 大野城は、「日本書紀」に記されている日本最古の山城であり、市名の由来にもなっています。天智 4（665）年、四王寺山の地形を利用した朝鮮式山城として築かれました。巨大な山城で、土塁に囲まれる範囲は約 210ha に及びます。その広い範囲が「国指定特別史跡大 野城跡」に指定され、更に「日本 100 名城」、「美しい日本の歴史的風土 100 選（特別枠を 除く）」に選ばれる等、多くの人々に親しまれています。
- この大野城跡を中心に、広く福岡県民に親しまれる森が「四王寺県民の森」です。市内では大城山の西斜面一帯が「四王寺県民の森」となっています。この森は、福岡県自然公園として子供たちの遠足や家族のレクリエーションの場、さらには健康増進のための身近な登山の場として、多くの人々に親しまれています。
- 大野城は、平成 27 年には築城 1350 年を迎えます。まちなかから登山道「（仮称）歴史をつなぐ路」へ歩みを進め、ふるさと大野城に刻まれた悠久の歴史をお楽しみください。



大野城跡全体図
（福岡県教育委員会 1991『特別史跡大野城跡Ⅶ』をもとに作成）

大石垣

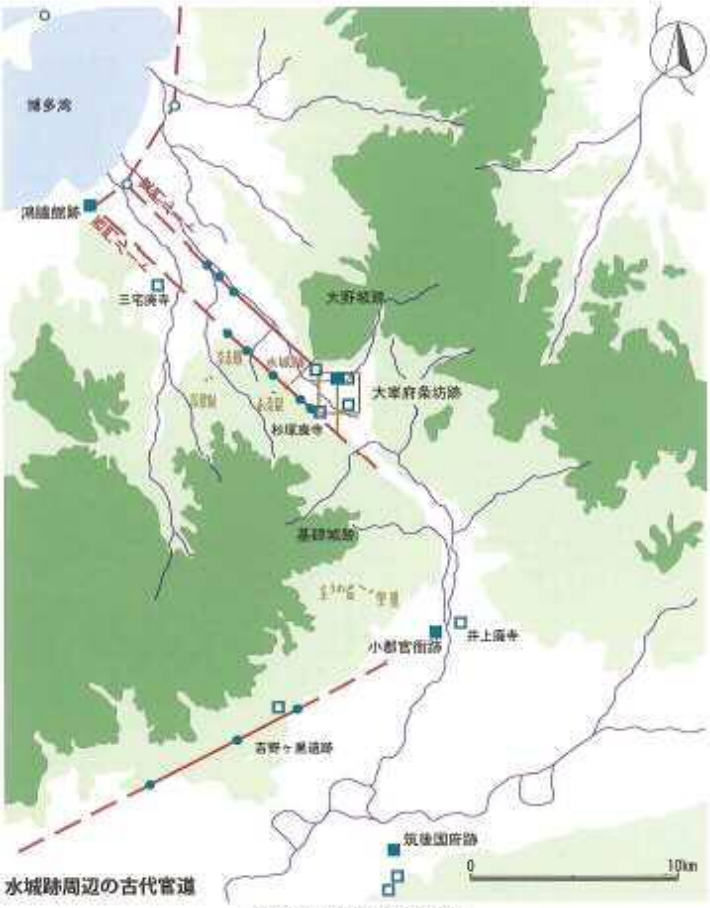
ハツ波礎石群（九州歴史資料館提供）

水城口城門

図・写真出典：大野城市教育委員会発行『特別史跡　大野城跡』

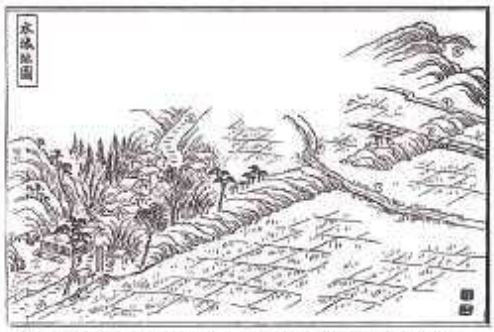
（2）テーマ２：「巨大な古代防衛施設・水城」

- 水城は「日本書紀」に記されている巨大な古代防衛施設です。天智 3（664）年、大野城・基肄城と同時期に築かれました。現在は「国指定特別史跡水城跡」として親しまれています。
- 水城跡は、土塁の高さは地面から 10m、幅が最大で 80m、距離は約 1.2ｋｍに及びます。 巨大な古代防衛施設であったことを今に伝えています。
- 水城は築造当時「版築」と呼ばれる工法で固く突き締められていましたが、年月の経過とともに、徐々に土塁には樹木が茂るようになり、濠は埋まっていったようです。江戸時代や明治時代の絵図に樹木が茂り、濠が水田となった「水城跡」としての姿が描かれています。
- 平成 26 年に築造 1350 年を迎えました。現在、水城跡周辺に広がっていた水田は市街地に変わりましたが、水城跡本体は築造当時とは大きく変わらない姿を今に留めています。
- 古代に築かれた巨大な防衛施設の存在は市民の誇りです。緑に包まれた巨大な防衛施設を巡ってみましょう。



水城跡周辺の古代官道
（山村信榮 1993「大宰府周辺の古代官道」『九州考古学』第 68 号より）

『筑前名所図会』西都図第四　文政 4（1821）年



『靖方遯源』水城址図　明治 24（1891）年

図・写真出典：大野城市教育委員会発行『特別史跡　水城跡』

（３）テーマ３：「先人が築いたため池群」

- 市内で、ため池が比較的多く残されるところ、それが上大利地区です。
- この地区のため池は、少なくとも江戸時代以降、上大利村、下大利村、白木原村といった村々 に農業用水を供給する役割を担ってきました。
- 御笠川流域に位置する市内の村々の中で、江戸時代、井手（河川）からの取水が 100%を占めていたのは、仲島、畑詰、山田の３つの村のみでした。他の村は、天水（湧水・遊水）とため池に頼っていたことが分っています。
- ため池への依存度が高かった村の一つが「白木原村」です。その水源が「三兼池」でした。三兼池は、大字上大利の中に飛び地で大字白木原となっており、三兼池が白木原村にとって重要なため池だったことを今に伝えているのではないでしょうか。
- 三兼池の他、上大利地区に点在するため池を見ていくと、上大利村の水利を担っていた日の浦池・仙頭ヶ浦池、下大利村の水利を担っていた松尾池、天神田池等が挙げられます。
- 現在、三兼池、日の浦池と仙頭ヶ浦池は、それぞれ三兼池公園、日の浦公園として整備され、市民の身近な親水公園として親しまれています。
- 住宅地の中に点在するため池を巡り、ため池を大事にしてきた先人に思いを馳せるのもふるさと大野城の楽しみと考えます。

ため池の分布と水利（溜井の碑解説板より）

（４）テーマ４：「史跡を結ぶふるさとの川・御笠川」

- 御笠川は、宝満山を源とし、博多湾に注ぐ二級河川です。本市はその中流域に位置しています。
- 市内を流れる牛頸川と平野川、川久保川、平田川も御笠川の支流です。長い間、これら水系の水が農業用水として市内の各地を潤してきました。
- 御笠川の由来は、実は、大野城市山田２丁目にある「御笠の森」と伝えられています。御笠の森は、日本書紀にも登場する森であり、御笠郡、御笠川など、御笠という地名が起こった伝説にまつわる地として、広く知られています。
- 御笠川の特徴は、地域の歴史や文化を今に伝える史跡が川沿いに点在することです。御笠の森も川沿いに近く、上流に歩いて行くと、水城跡を抜けて、大宰府政庁跡、太宰府天満宮等を訪れることができます。
- 御笠川の川沿いには、並木が植えられ、今後も親水空間の整備が予定されています。御笠川を中心に市内外に点在する史跡を巡り、本市の歴史や文化に想いを馳せてみませんか。本市の成り立ちがより深く理解できると考えます。

御笠川と川沿いに位置する主な史跡の関係

（5）テーマ５：「牛頸の田園風景と牛頸川」

- 福岡都市圏に位置し、市街地が広がる本市ですが、ベットタウン化する以前は平野部の大部分が田園地帯でした。明治時代の大野村（現大野城市）は全世帯数のうち農家の割合が 7 割を超え、純農村地帯を形成していました。この流れは大正から昭和初期にかけても同様に続いています。
- 昭和 16（1941）年に市内初の土地区画整理事業が実施されて以降、昭和 50 年代をピークに、農地の宅地への転用が盛んに行われるようになりました。
- 広い範囲で農地が失われ、市街化が進展した中で、現在、市内で唯一牛頸川上流に地形・地質を生かした田園地帯が約１km にわたり残されています。
- 田園地帯のはずれには、「薬師の杜」があります。薬師の杜は、薬師堂の境内を形作る鎮守の森で、小さいながら遠くから見ても堂々とした風格を持つ木立です。エノキとクスノキを中心として構成されており、特にエノキは市内では最大級のものとされています。
- 牛頸川沿いの農地は、大野城市の農耕文化を感じることのできる貴重な場所となっています。 農地を巡り、ふるさと大野城市の原風景を感じて下さい。

青々とした田園風景

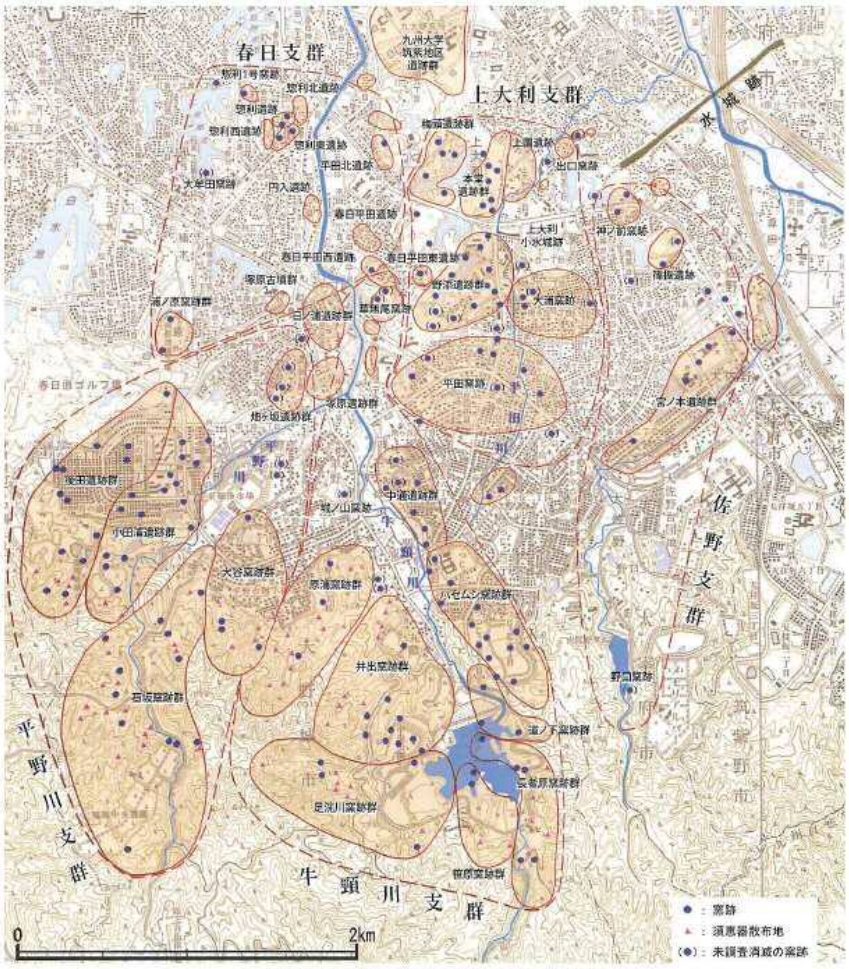
彼岸花が咲く田園

田園の中を流れる牛頸川

田園周辺の風情ある町並み

（6）テーマ６：「約３００年間操業された窯跡・牛頸須恵器窯跡」

- 牛頸須恵器窯跡は大野城市南端に位置する牛頸山の北麓に位置する須恵器窯跡群です。窯跡の分布は、大野城市上大利と牛頸地区を中心として、春日市・太宰府市の一部を含む東西約 4km、南北約 4.8km の範囲に広がっています。12 カ所が国史跡に指定されています。
- 牛頸須恵器窯跡の大きな特徴は、6 世紀中頃から 9 世紀中頃にかけて約 300 年にわたって 窯が作られ、500 基を超える窯跡群であることです。1 カ所で長期間・大規模に操業された 窯跡群は九州では他にはありません。さらに、牛頸窯は地方にありながら大和政権と直接結びつき須恵器生産を行っていたとされ、九州における須恵器生産をリードしていた全国的にも極めて重要な須恵器生産遺跡として評価されています。
- 牛頸須恵器窯跡の周辺には、いこいの森（中央公園・水辺公園・キャンプ場）をはじめとする自然を生かした公園が点在しており、市民による各種イベントやレジャーに利用されています。
- 牛頸山や牛頸川といった豊かな自然に包まれたいこいの森を基点として、牛頸須恵器窯跡を巡ってみませんか。ふるさと大野城の古代文化を感じることができると考えます。



牛頸須恵器窯跡の窯跡群と支群の分布

小田浦窯跡群（79 地点）

梅頭窯跡（３次調査）

図・写真出典：大野城市教育委員会発行『史跡　牛頸須恵器窯跡』
大野城市教育委員会発行『わたしたちの文化財』

（７）テーマ７：「新旧のにぎわい・旧太宰府往還と西鉄沿線」

- 旧太宰府往還（旧日田街道）は江戸時代、博多と日田を結ぶ主要な道であり、多くの人々の往来でにぎわっていたと考えられます。
- 旧太宰府往還に沿って流れていた新川も寛延３（1750）年に整備された歴史ある河川です。主に川舟を使用した物流に利用されていましたが、水量の乏しさから、宝暦１２（1762）年に運行が停止されました。今は埋めたてられていますがかつての形状は保たれており、新川緑地帯と名付けられた遊歩道として親しまれています。
- 西鉄天神大牟田線に沿っては、大正 13（1924）年に西鉄春日原駅と西鉄下大利駅が、昭和 21（1946）年に西鉄白木原駅が開設されました。以降、本市の玄関口として、多くの市民や来訪者に利用されており、周辺の施設とともに大野城市の中心地のにぎわいを形づくっています。
- 西鉄天神大牟田線では、線路の高架化が進められており、沿線の商店街等を含めた新たなにぎわいの創出が期待されています。
- このような新旧の道を行き来することで、地域の歴史・文化を再発見することのできるにぎわいの道が生まれるのではないかと考えます。

埋立て前の新川

現在の新川跡・新川緑地

水城大堤と日田街道（大正５年頃）

現在の水城大堤と日田街道

西鉄白木原駅周辺

現在の西鉄白木原駅周辺

3-2 テーマ毎のトレイルのルートの設定

・以下、テーマ毎のトレイルを設定します。

（１）「古代山城・大野城」（山城ルート）

・（仮称）大野城心のふるさと館を発着とし、史跡大野城跡を目指します。道中に点在する遺跡や古墳、神社をはじめとする大野城市の歴史や文化に触れながら歩みを進め、毘沙門堂などの歴史が残る大野城跡で大自然に包まれながら、壮大な歴史を感じてください。

【ルートの概要】

①総延長：約 12.3km

②所要時間：約 180 分（歩行速度 4km/h の場合）

③主な基点

・（仮称）大野城心のふるさと館（※今後整備予定）

④主な見どころ（モデルルート）

出発

●（仮称）大野城心のふるさと館

↓（●道標石）：釜蓋（かまぶた）の古い集落のはずれにある道しるべです。両脇には２体の仏像が据えられ、地域の方により大切にまもられています。

↓（●雉子ヶ尾古墳）：直径約 10m、周溝幅約 1m の円墳です。玄室、前室、羨道からなる横穴式石室をもつ貴重な古墳です。

●大野城総合公園

↓（仮称）歴史をつなぐ路

◉毘沙門堂：大野城の北の守護神として祀られています。正月三日の早暁に多くの人でにぎわいます。

↓（仮称）歴史をつなぐ路

◉乙金宝満神社：創建は文禄４（1595）年であり、その後、現在の場所に移されました。本殿には御神体として女神像一体と木碑二個が祀られています。

↓（●善一田古墳）：新羅・朝鮮半島系土器、馬具・鉄鏃や象嵌で装飾をした刀など全国的にも珍しく貴重な副葬品が多数出土しています。古墳からは福岡平野を一望できます。

↓（●王城山４号墳）

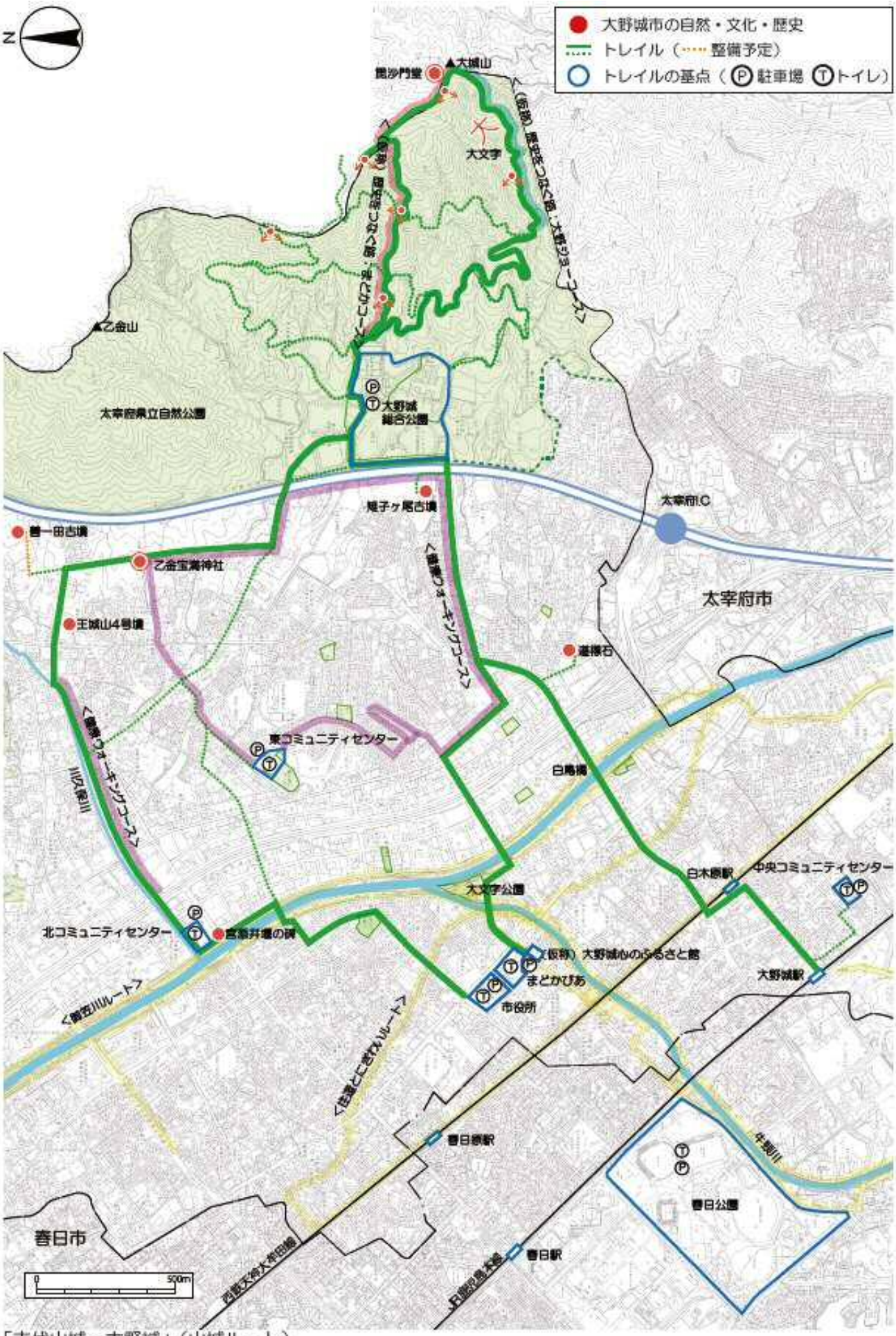
↓（川久保川）

↓（●北コミュニティセンター）

↓（●宮添井堰の碑）

↓（御笠川）

●（仮称）大野城心のふるさと館



「古代山城・大野城」（山城ルート）

（２）「巨大な古代防衛施設・水城」（水城跡ルート）

・ＪＲ水城駅を基点に特別史跡水城跡を巡ります。土塁断面露出箇所や西門跡など史跡地内の貴重な遺構に触れ、巨大防衛施設の壮大な歴史を感じてください。水城ゆめ広場は他のルートにも接続しているので、引き続きお楽しみいただけます。

【ルートの概要】

①総延長：約 2.5km

②所要時間：約 40 分（歩行速度 4km/h の場合）

③主な基点

・ＪＲ水城駅、水城ゆめ広場

④主な見どころ（モデルルート）

出発

● JR 水城駅

↓

● 土塁断面解説広場　：土塁の欠堤部として版築の様子をうかがい知ることができる貴重な場所です。現在は公開されていませんが、今後、整備が予定されています。

↓

● 木樋　：木樋は土塁の中に埋設され、内濠から外濠に送水する役割を担っていました。現在、推定地、抜き取りを含めて４カ所確認されています。

↓

● 外濠　：博多側に広がる幅 60 m、深さ 4m を誇る大規模な外濠の遺構です。

↓

（● 父子嶋）

↓

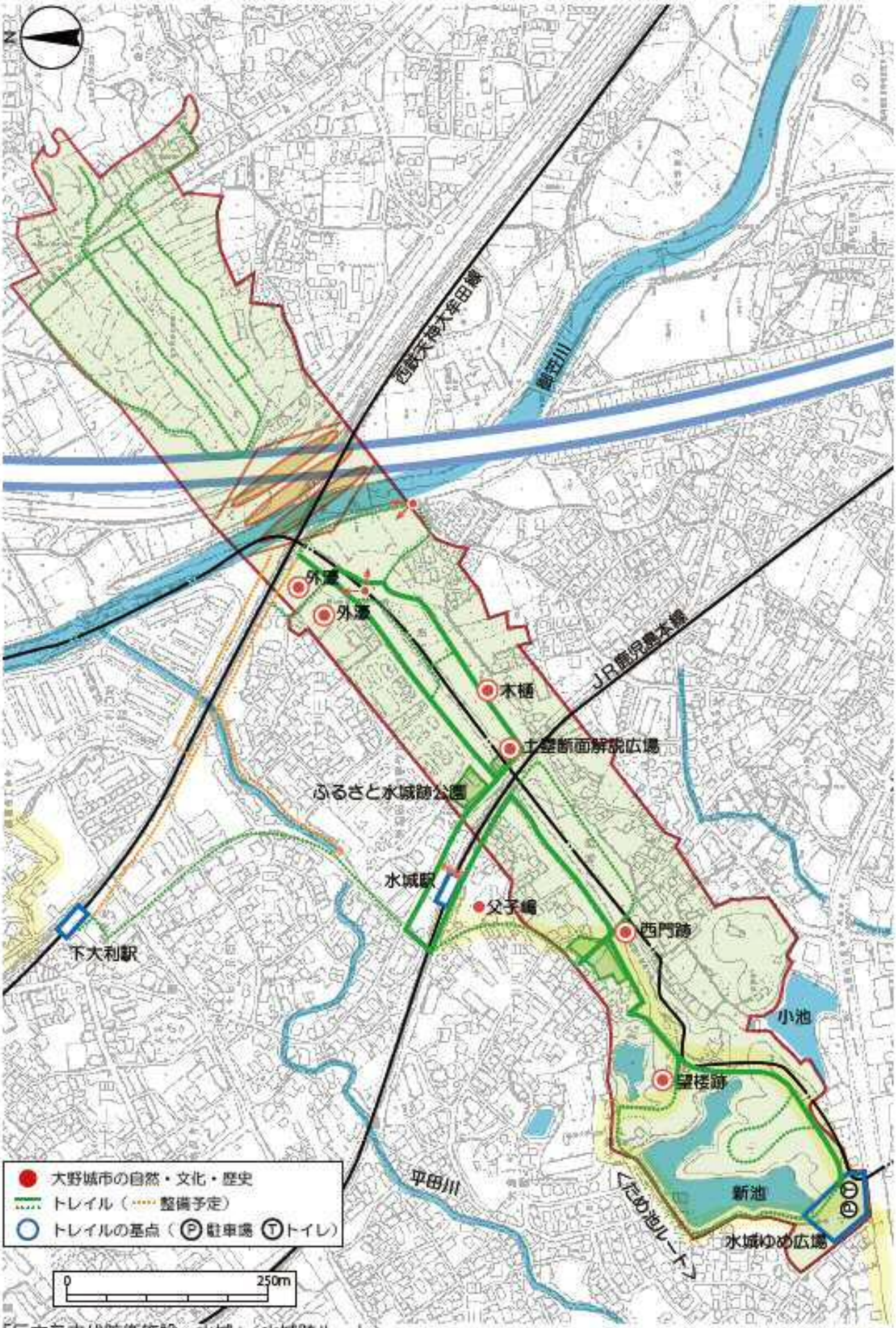
● 西門跡　：古代、西門を通り大宰府に入る官道は西門ルートと呼ばれ、延長線上に筑紫館（のちの鴻臚館）があり、この西門を通って外交使節を迎えました。

↓

● 望楼跡　：小高い丘の上にある敵の進入や人々の往来を見守った建物跡とされます。丘の上からは市街地を一望できます。

↓

● 水城ゆめ広場）　：休憩・他のルートへ



「巨大な古代防衛施設・水城」（水城跡ルート）

（３）「先人が築いたため池群」（ため池ルート）

・ＪＲ水城駅を出発し、特別史跡水城跡の歴史に触れながら、ため池群を目指します。ため池群には三兼池公園や日の浦公園など憩いの空間が併設しているので各自のペースで水辺の空間を楽しむことが可能です。農業用水の水源として先人が築いたため池群を巡りながら大野城の自然や文化を体感してください。

【ルートの概要】

①総延長：約 4.5km

②所要時間：約 70 分（歩行速度 4km/h の場合）

③主な基点

・ＪＲ水城駅、水城ゆめ広場

④主な見どころ（モデルルート）

出発

●ＪＲ水城駅

↓

◉父子嶋　：JR 水城駅西側の小高い丘です。水城の土塁の構築にちなんだの父子の物語が伝えられています。

↓

↓（●西門跡）

↓

◉新池　：水城跡に隣接した池で、水城の外濠に水をためたことと何らかの関係がありそうです。

↓

↓

◉三兼池（公園）　：約 6.2ha の規模で、池の回遊路や木橋が整備された憩いの空間です。三兼池公園からは四王寺山を眺めることができます。

↓

↓

◉溜井之碑　：農業用水の確保のために尽力した先人たちの偉業を伝える石碑です。

↓

↓（●梅頭窯跡）

↓

◉日の浦池（公園）　：約 6.5ha の規模を持ち、なだらかな丘陵地を利用した、ゆっくりと休憩できる広場となっています。

↓

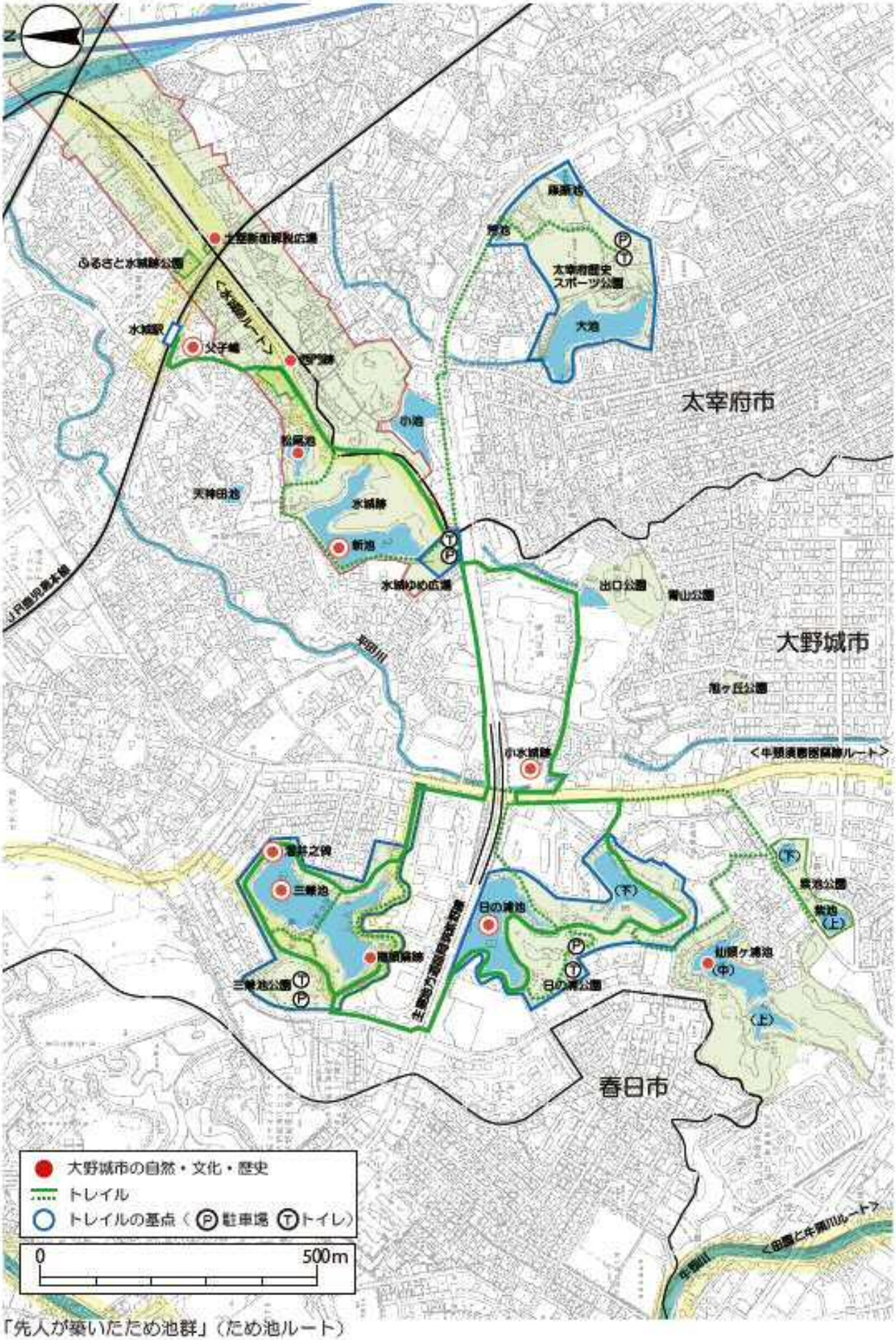
↓

◉小水城跡　：水城跡の西側に牛頸山から北に延びる丘陵地帯が広がっており、この丘陵の谷部を閉塞するように小水城が築かれています。

↓

↓

●水城ゆめ広場　：休憩・他のルートへ



「先人が築いたため池群」（ため池ルート）

（４）「史跡を結ぶふるさとの川・御笠川」（御笠川ルート）

・（仮称）大野城心のふるさと館を発着、立花寺橋と下大利橋を端点とし、御笠川の沿岸を歩いていきます。途中、宮添井堰の碑といった御笠川に関連する歴史的遺産にも触れることができます。雄大な御笠川の自然を感じながらトレイルをお楽しみください。

【ルートの概要】

①総延長：約 12.0km

②所要時間：約 180 分（歩行速度 4km/h の場合）

③主な基点

・（仮称）大野城心のふるさと館（※今後整備予定）

④主な見どころ（モデルルート）

出発

●（仮称）大野城心のふるさと館

↓

↓（●新川緑地、新川跡）

↓

↓（●筒井の井戸）　：『筑前国続風土記』にも記される由緒ある井戸で、県指定有形民俗文化財に指定されています。

↓

◉御笠川　：御笠川周辺では街並みに溶け込む航空機の姿をたのしむことができます。

↓

↓

◉御笠の森　：その昔、神功皇后の笠が風によってこの森に飛んできたという逸話が残り、日本書紀や万葉集にも記された由緒ある森です。

↓

↓

↓（●仲島遺跡）　：本市北端近くの御笠川左岸の沖積地に位置します。弥生時代の遺構として竪穴式住居跡、掘立柱建物、土坑、溝、甕棺墓が出土しています。特に、1981 年には中国新代の貨布（青銅製貨幣）が出土しました。貨布が発掘調査で発見されたのは、国内でも大野城市の 1 例だけです。

↓

↓（●仲畑中央公園）

↓

折り返し（立花寺橋）

↓

◉御笠川

↓

↓（●北コミュニティセンター）

↓

◉宮添井堰の碑　：その昔、御笠川が氾濫するたびに流されていた宮添井堰には、「ひんどの人柱と火の玉」の伝説が残っています。

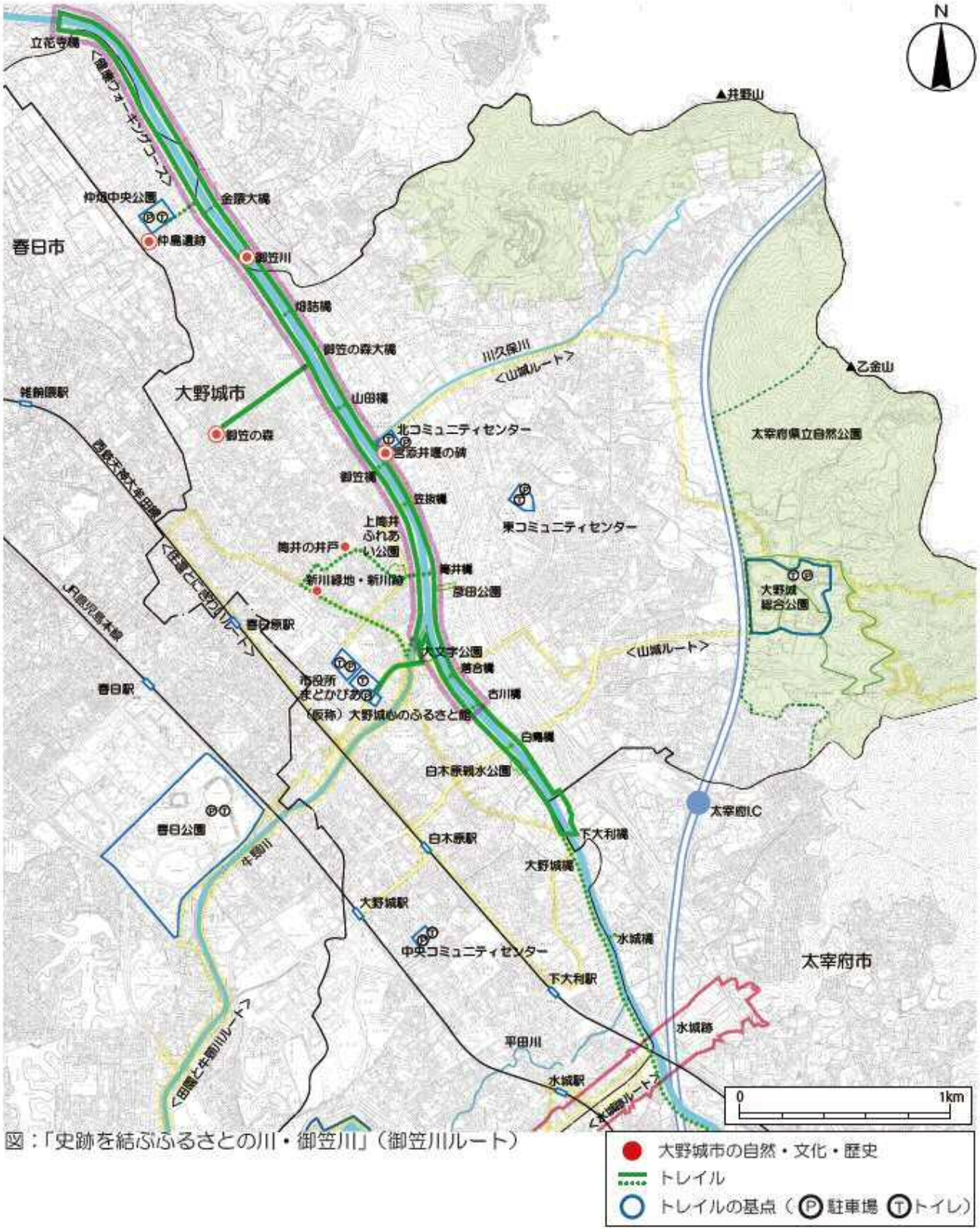
↓

↓

折り返し（下大利橋）

↓

●（仮称）大野城心のふるさと館



図：「史跡を結ぶふるさとの川・御笠川」（御笠川ルート）

（５）「牛頸の田園風景と牛頸川」（田園と牛頸川ルート）

・（仮称）大野城心のふるさと館を発着とし、牛頸川に沿って牛頸ダムまで南下するロングトレイルです。牛頸川のせせらぎを感じながら歩みを進めると、住宅街の中に広大な田園地帯が現れます。田園の中を歩くことでかつての農耕文化や自然を感じることができます。田園から南に歩いた牛頸ダム周辺は水辺と森林に囲まれた気持ちの良い空間が続いており、夏には蛍を見ることができます。ロングトレイルの中で水辺や田園が織りなす様々な風景の変化をお楽しみください。

【ルートの概要】

①総延長：約 18.3km

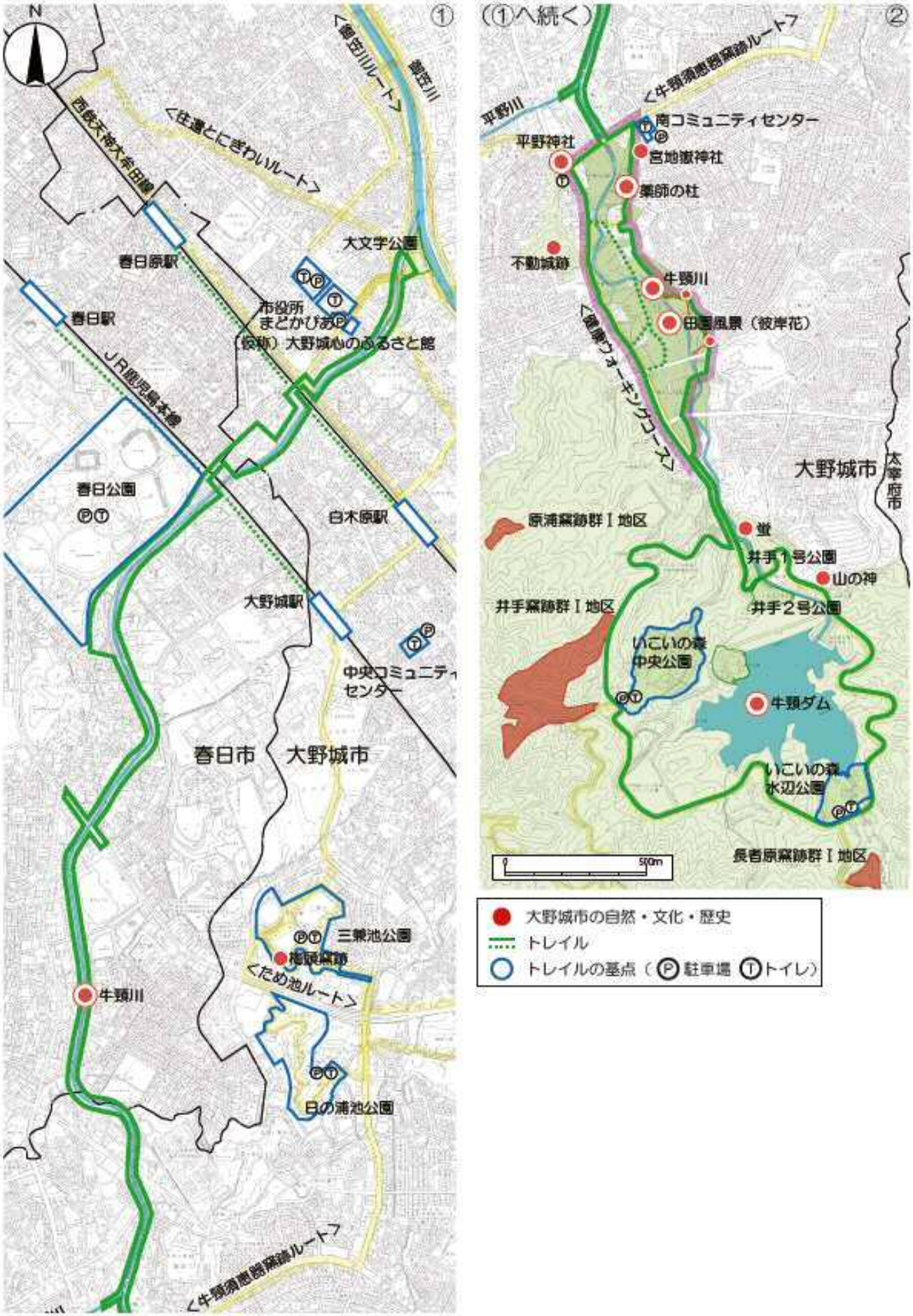
②所要時間：約 280 分（歩行速度 4km/h の場合）

③主な基点

・（仮称）大野城心のふるさと館（※今後整備予定）

④主な見どころ（モデルルート）

出発
●（仮称）大野城心のふるさと館
↓
◉牛頸川　：市の南部を流れる御笠川の支流です。上流部では毎年５月下旬から６月上旬にかけてホタルを見ることができます。
↓
↓
↓（●南コミュニティセンター）
↓（●宮地嶽神社）
↓
◉薬師の杜　：市内最大級のクスノキとエノキを中心に構成される森で薬師堂の境内となっています。お薬師様は目の神様として、昔から市民にあがめられています。
↓
↓
↓
◉田園風景　：稲刈り時期には一面黄金に染まり、夕日に照らされた風景は絶景です。稲刈り後の彼岸花が咲き誇る風景も綺麗です。
↓
↓（●山の神）
↓
◉牛頸ダム
↓
休憩（●いこいの森水辺公園）
↓
↓（●不動城跡）　：戦国時代の山城で、山頂と平地の高低差は約 30 m、城郭跡は約 1000 ㎡と推定されています。
↓
↓
◉平野神社　：京都の平野神社を勧請したもので、約千年の歴史を持つ由緒ある神社です。県内有数のイチイガシ群生をもつの境内は落ち着いた雰囲気を醸し題しています。
↓
↓
↓
◉牛頸川
↓
●（仮称）大野城心のふるさと館



図：「牛頸の田園風景と牛頸川」（田園と牛頸川ルート）

（６）「約３００年間操業された窯跡・牛頸須恵器窯跡」（牛頸須恵器窯跡ルート）

・ＪＲ大野城駅を出発し、史跡牛頸須恵器窯跡群を目指すロングトレイルです。道中では梅頭窯跡や平野神社、胴ノ元古墳など幅広い歴史や文化に触れることができます。本ルートでは窯跡群の中でも比較的大きな小田浦窯跡群Ⅰ地区や石坂窯跡群Ⅱ地区、井手窯跡群Ⅰ地区を主として巡りますが、その他の窯跡についても基点を活かしながら鑑賞されることをお勧めします。大自然に囲まれた牛頸須恵器窯跡群を巡り、先人の優れた技術に触れてください。

【ルートの概要】

①総延長：約 16.8km

②所要時間：約 250 分（歩行速度 4km/h の場合）

③主な基点

・ＪＲ大野城駅

④主な見どころ（モデルルート）

出発

●ＪＲ大野城駅

↓

◉梅頭窯跡　：全長 11.5m の窯跡で、鉄刀、矢じり、須恵器等が出土しています。窯の操業後に墓に転用された珍しい事例です。

↓

↓

↓

◉天狗の鞍掛けの松　：昔、牛頸村の入口に立っていた松野大木の伝説が残ります。現在は４代目の松で、記念碑と共に植えられています。

↓

↓

↓（●平野神社）

↓（●胴の元古墳）

↓

◉小田浦窯跡群Ⅰ地区（※今後整備予定）　：古墳時代末から飛鳥時代にかけての窯跡で、排煙設備の「多孔式煙道」は当地の窯跡群の特色として注目されます。

↓

↓

↓

◉石坂窯跡群Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ地区（※今後整備予定）　：須恵器が相当数出土しており、窯の残存状態も良好です。Ⅳ地区では露出展示を行っています。

↓

↓

◉井手窯跡群Ⅰ地区（※今後整備予定）　：史跡指定地の大きさは窯跡群の中で最大規模を誇ります。杯身、杯蓋、甕などが出土しています。

↓

↓

◉牛頸ダム

↓

休憩（●いこいの森中央公園）

↓

◉長者原窯跡群Ⅰ地区

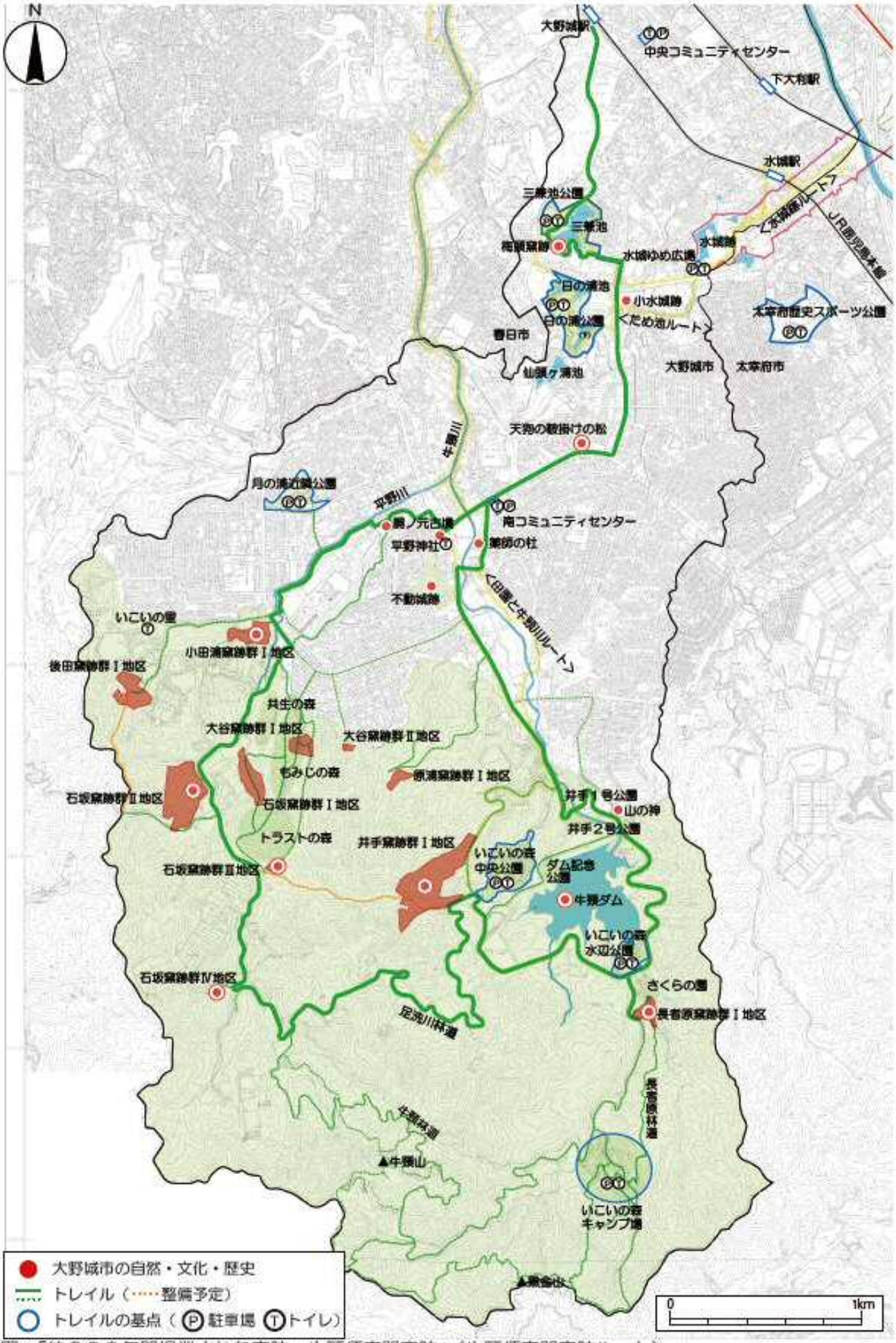
↓

↓（●薬師の杜）

↓（●南コミュニティセンター）

↓

●ＪＲ大野城駅



図：「約３００年間操業された窯跡・牛頸須恵器窯跡」（牛頸須恵器窯跡ルート）

（７）「新旧のにぎわい・旧太宰府往還と西鉄沿線」（往還とにぎわいルート）

・（仮称）大野城心のふるさと館を発着とし、歴史ある旧太宰府往還の町並みと新川緑地・新川跡、春日原停留所運動場道などまちのにぎわいの発展を物語る歴史に触れることができます。さらに西鉄天神大牟田線に沿っては現在のにぎわいを見せる商店街が点在しています。旧太宰府往還と西鉄沿線を交互に巡ることで、大野城のにぎわいの歴史を体感してください。

【ルートの概要】

①総延長：約 7.0km

②所要時間：約 100 分（歩行速度 4km/h の場合）

③主な基点

・（仮称）大野城心のふるさと館（※今後整備予定）

④主な見どころ

出発

●（仮称）大野城心のふるさと館

↓

◉新川緑地・新川跡　：1663 年に福岡藩の年貢米輸送のために築かれた運河跡です。現在は流路の形状を残しながらも緑地として整備され市民の憩いの場として親しまれています。

↓

◉春日原停留所運動場道碑　：大正 13 年４月 12 日に九州鉄道（現西鉄）が福岡から久留米間に電車を開通し、春日原停留所が設置されました。

↓

◉郡境界標　：旧日田街道の名残で、当時の御笠郡と那珂郡の郡境を示したものです。本市の指定有形民俗文化財に指定されています。

↓

（●木造聖観音立像）

↓

◉錦町通り商店街　：春日原駅に隣接する商店街です。多くの商店が並び朝市などのイベントが開催されています。

↓

◉消防ポンプ格納庫　：大正末期に白木原に建てられた赤煉瓦造の消防ポンプ格納庫が現在の場所に移築されたものです。

↓

（●センダンの木）

↓

◉下大利商店街　：下大利駅西口に広がる商店街です。昔ながらのお店や個性的なお店が並ぶ商店街です。

↓

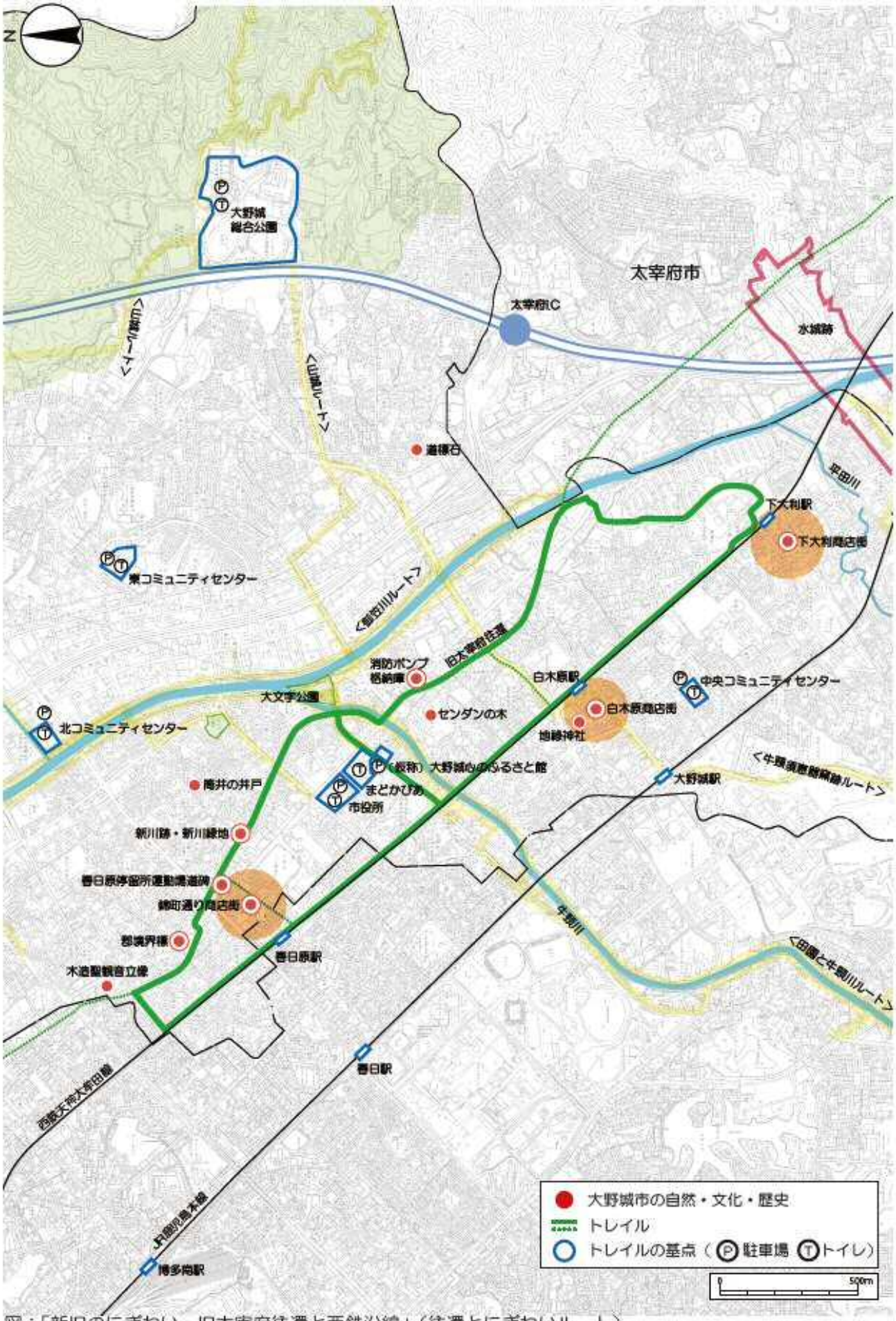
◉白木原商店街　：西鉄白木原駅の西側にある商店街で、以前は横文字の看板が並び「ベース通り」と呼ばれ米兵向けのお店で賑わっていました。

↓

（●地祿神社）

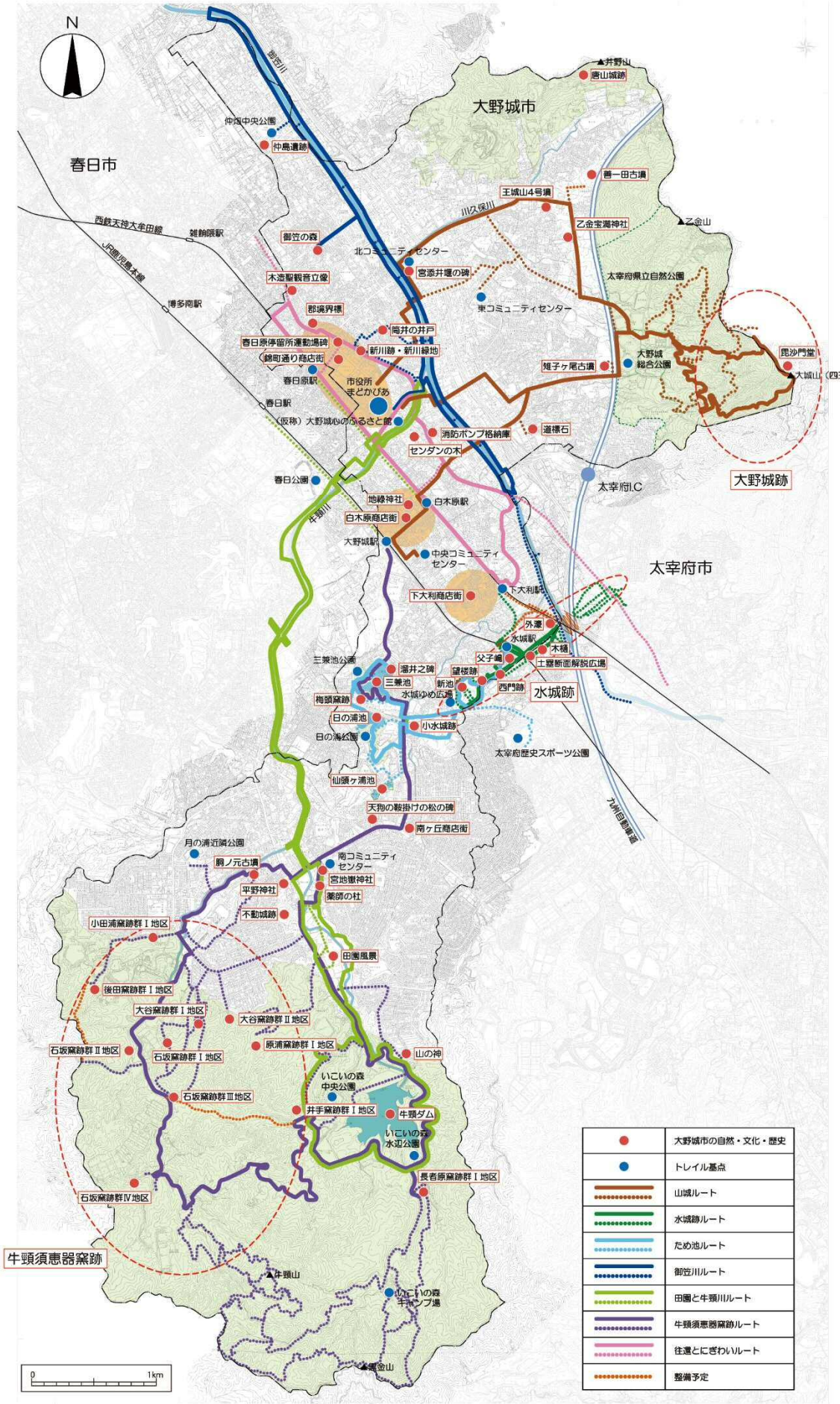
↓

●（仮称）大野城心のふるさと館



図：「新旧のにぎわい・旧太宰府往還と西鉄沿線」（往還とにぎわいルート）

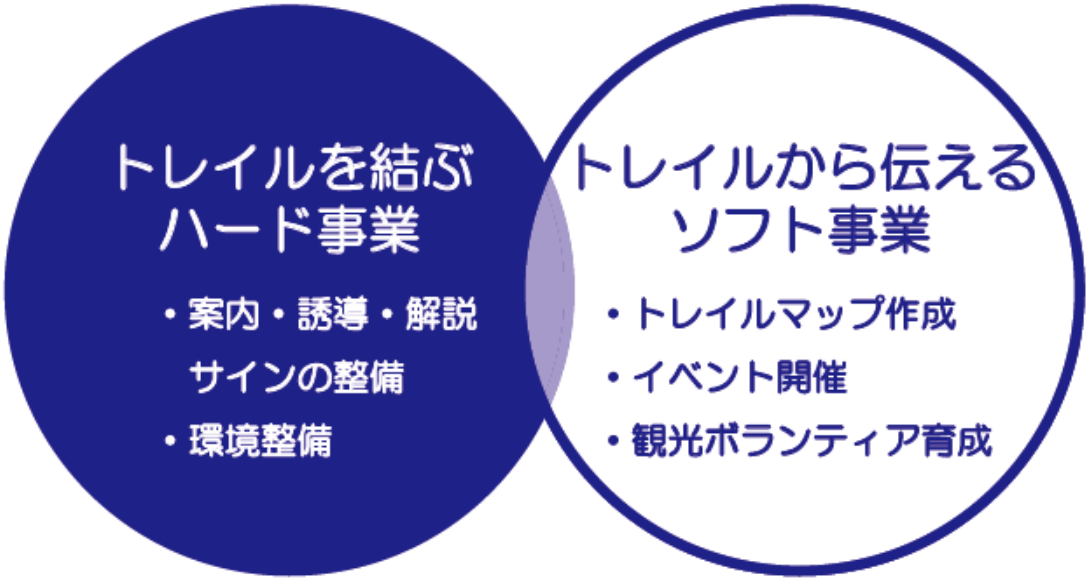
＜トレイル総括図＞


N
大野城市
春日市
太宰府市
御笠川
牛頸川
川久保川
西鉄天神大牟田線
JR鹿児島本線
九州自動車道
雑餉隈駅
博多南駅
春日原駅
春日駅
白木原駅
大野城駅
下大利駅
水城駅
太宰府I.C
▲井野山
唐山城跡
仲島中央公園
仲島遺跡
善一田古墳
王城山4号墳
乙金宝満神社
▲乙金山
太宰府県立自然公園
御笠の森
北コミュニティセンター
宮添井堰の碑
東コミュニティセンター
木造聖観音立像
郡境界標
筒井の井戸
春日原停留所運動場碑
新川跡・新川緑地
錦町通り商店街
市役所
まどかぴあ
（仮称）大野城心のふるさと館
雉子ヶ尾古墳
大野城
総合公園
毘沙門堂
▲大城山（四王寺山）
大野城跡
消防ポンプ格納庫
道標石
センダンの木
春日公園
地縁神社
白木原商店街
中央コミュニティ
センター
下大利商店街
外濠
木樋
父子嶋
土塁断面解説広場
望楼跡
新池
西門跡
水城跡
三筑池公園
湶井之碑
三筑池
水城ゆめ広場
梅頭窯跡
日の浦池
小水城跡
日の海公園
太宰府歴史スポーツ公園
仙頭ヶ浦池
天狗の鞍掛けの松の碑
南ヶ丘商店街
月の浦近隣公園
南コミュニティ
センター
胴ノ元古墳
宮地嶽神社
平野神社
薬師の杜
不動城跡
小田浦窯跡群Ⅰ地区
田園風景
後田窯跡群Ⅰ地区
大谷窯跡群Ⅰ地区
大谷窯跡群Ⅱ地区
原浦窯跡群Ⅰ地区
山の神
石坂窯跡群Ⅱ地区
石坂窯跡群Ⅰ地区
いこいの森
中央公園
石坂窯跡群Ⅲ地区
井手窯跡群Ⅰ地区
牛頸ダム
いこいの森
水辺公園
長者原窯跡群Ⅰ地区
石坂窯跡群Ⅳ地区
牛頸須恵器窯跡
▲牛頸山
いこいの森
キャンプ場
▲鷹金山
0
1km
大野城市の自然・文化・歴史
トレイル基点
山城ルート
水城跡ルート
ため池ルート
御笠川ルート
田園と牛頸川ルート
牛頸須恵器窯跡ルート
往還とにぎわいルート
整備予定

第４章　トレイルの整備計画

4-1 基本的な考え方

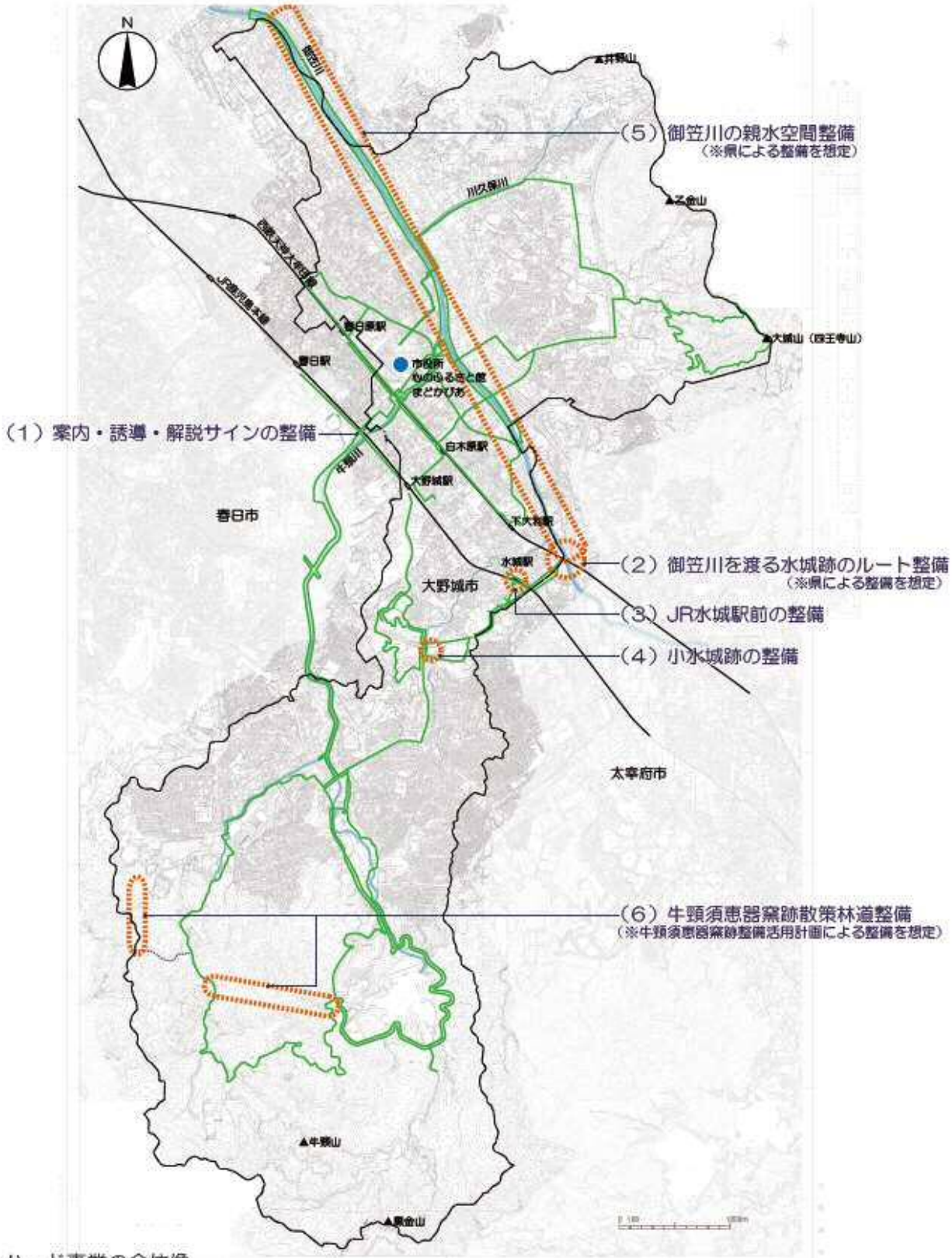
・本市固有の自然・文化・歴史を結び、生涯学習、教育、健康増進、観光交流等の多方面に活かされるトレイルの形成に向けては、子どもや高齢者の利用にも配慮し、歩いて回遊しやすい環境を整えるだけでなく、ふるさと大野城の魅力に関する情報を広く提供していくことも求められます。
・本計画では、上記を踏まえ、トレイルを結ぶハード事業と、トレイルを歩くことからふるさと大野城の歴史を伝えるソフト事業の推進に取り組みます。
・これら事業を両輪で推進することが、人々の出会いや交流を育み、人々の回遊性の向上に繋がると考えます。



図：整備計画のイメージ

4-2 トレイルを結ぶ：ハード事業

・自然・文化・歴史を生かし、トレイルのルートをより魅力のある空間にするため、案内・誘導・解説サインの整備や広場・歩道等の環境整備に取り組みます。
・これらの整備の推進にあたっては、他のプロジェクトによる整備計画や整備の進捗状況を考慮し、必要に応じて国・県や関連部局との協議・連携に取り組みます。



図：ハード事業の全体像

（1）案内・誘導・解説サインの整備

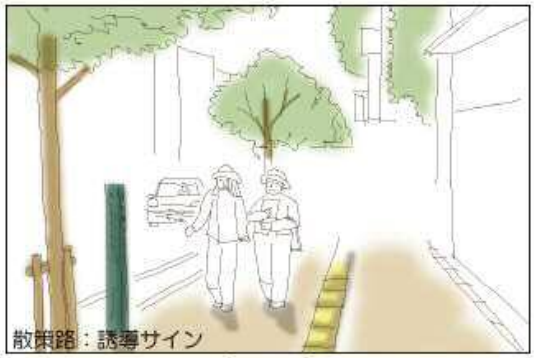
- トレイルの基点に総合サイン、散策路に誘導サインや路面標示サイン、トレイルの見どころとなる大野城市の自然・文化・歴史に解説サインを設置します。
- 各サインは、歩行者の誘導とともに景観形成にも配慮し、適度な大きさで、シンプルで統一されたマーク、デザイン、カラー等の採用に心がけます。
- サインの設置にあたっては、他の関連事業のサイン計画との整合を重視し、サイン実施計画を別途策定します。サイン計画では、より具体的なサインの仕様や設置箇所を検討します。

①トレイルの基点に設置する総合サイン

- トレイルの基点に設置する総合サインは、トレイルの解説やルートの紹介等を行うサインです。トレイルを巡る人々のスタート場所として、トレイルの基点に位置づけた公共施設等の分りやすい、集合しやすい場所等に設置します。

②トレイルの誘導に関する誘導サイン

- 散策路に設置する誘導サインは、トレイルを巡る人々を円滑に誘導するサインです。トレイルのルート沿いに適宜配置します。

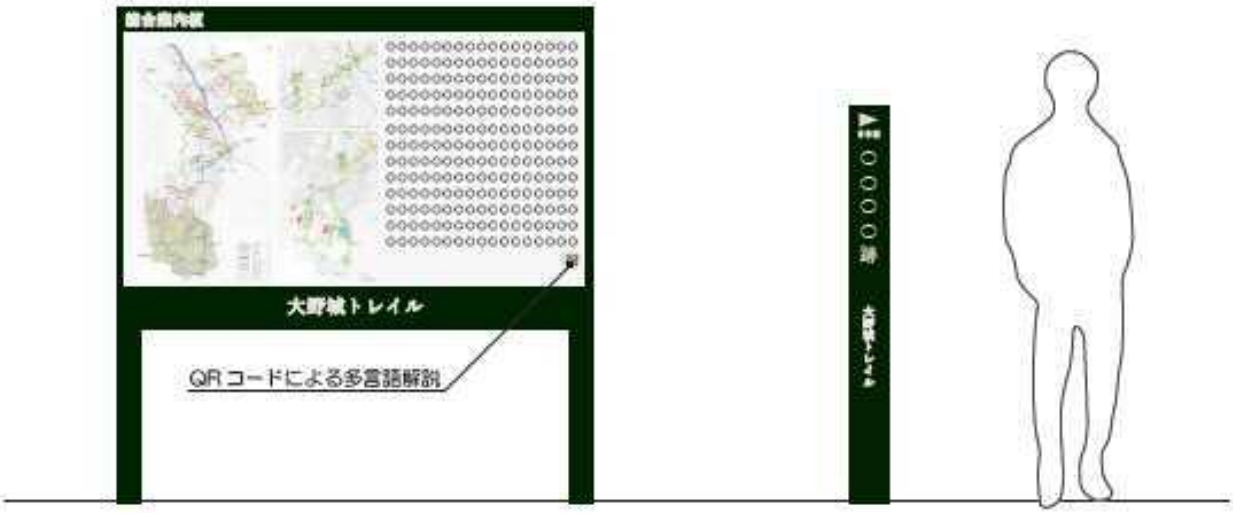


③トレイルを示す路面標示サイン

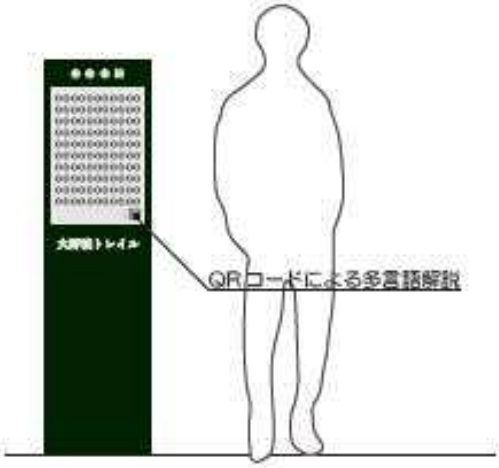
- 散策路に設置する路面標示サインは、トレイルを巡る人々にルートから外れていないことを示すサインです。ルートを見失いそうな幹線道路を渡る横断歩道の手前等に設置します。

④大野城市の自然・文化・歴史に関する解説サイン

- 大野城市の自然・文化・歴史に関する解説サインは、それらにまつわる由来、物語等を写真や図を交えて分りやすく伝えるサインです。解説文の内容を海外からの来訪者にもわかりやすく伝えるため、QR コード等を活用した多言語に対応したものとします。

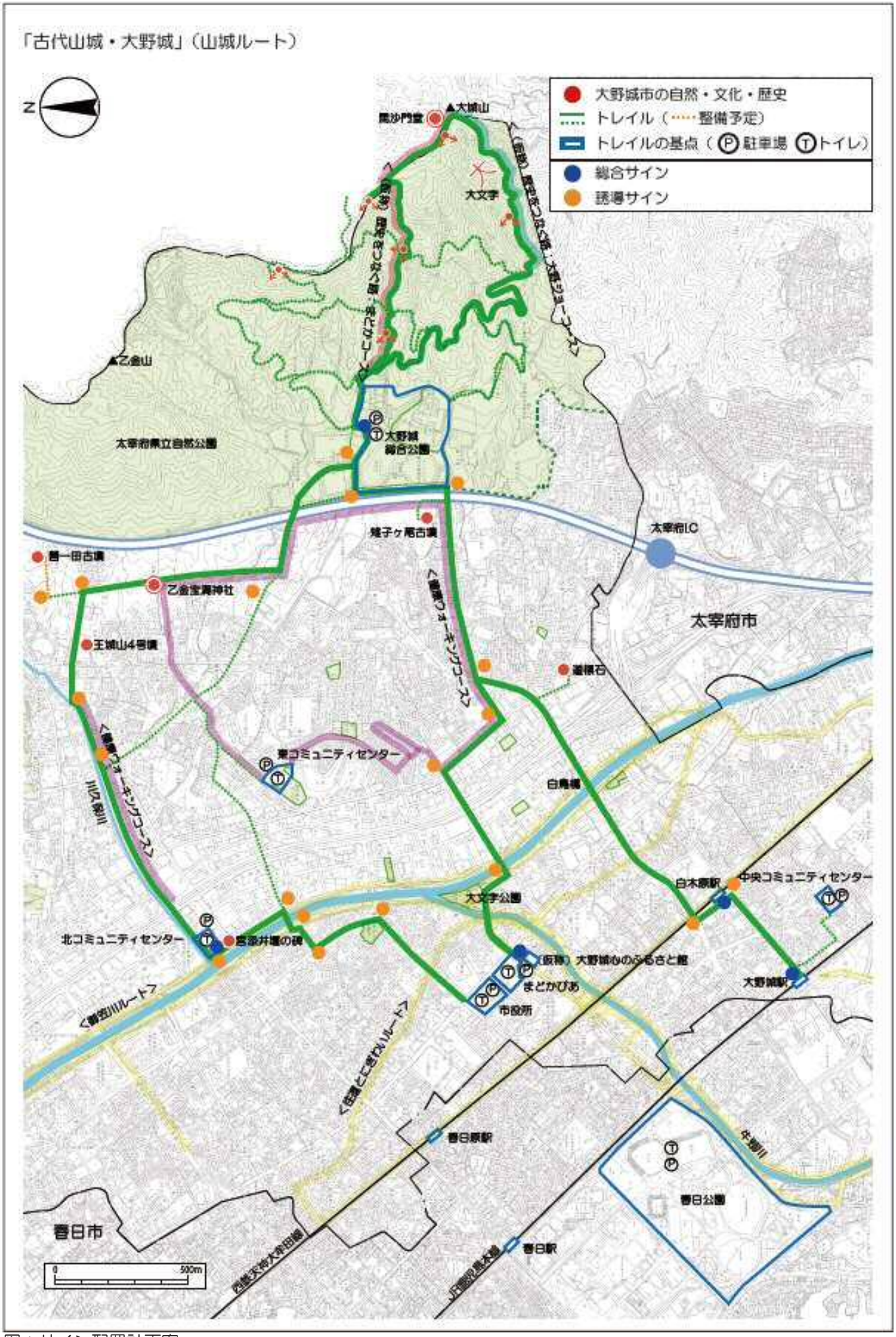


①トレイルの基点に設置する総合サイン　　②トレイルの誘導に関する誘導サイン



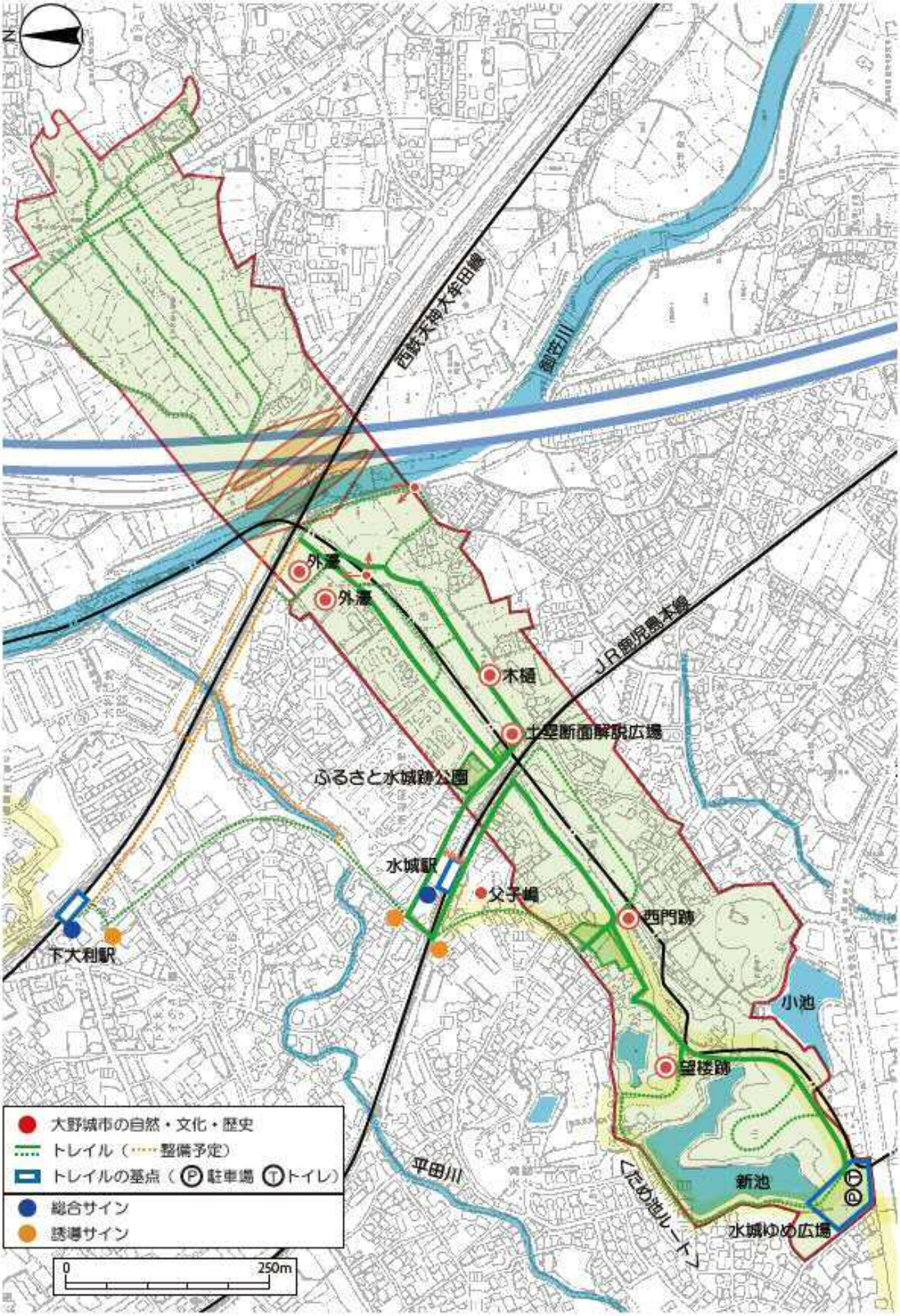
③トレイルを示す路面表示サイン　　④大野城市の自然・文化・歴史に関する解説サイン

図：サインのデザインイメージ


「古代山城・大野城」（山城ルート）
大野城市の自然・文化・歴史
トレイル（……整備予定）
トレイルの基点（Ⓟ駐車場 Ⓣトイレ）
総合サイン
誘導サイン
大城山
大文字
乙金山
太宰府県立自然公園
大野城総合公園
太宰府IC
太宰府市
乙金宝満神社
王城山4号墳
東コミュニティセンター
白鳥橋
大文字公園
白木原駅
中央コミュニティセンター
北コミュニティセンター
（仮称）大野城心のふるさと館
まどかぴあ
市役所
大野城駅
春日原駅
春日公園
春日市
春日駅
0
500m

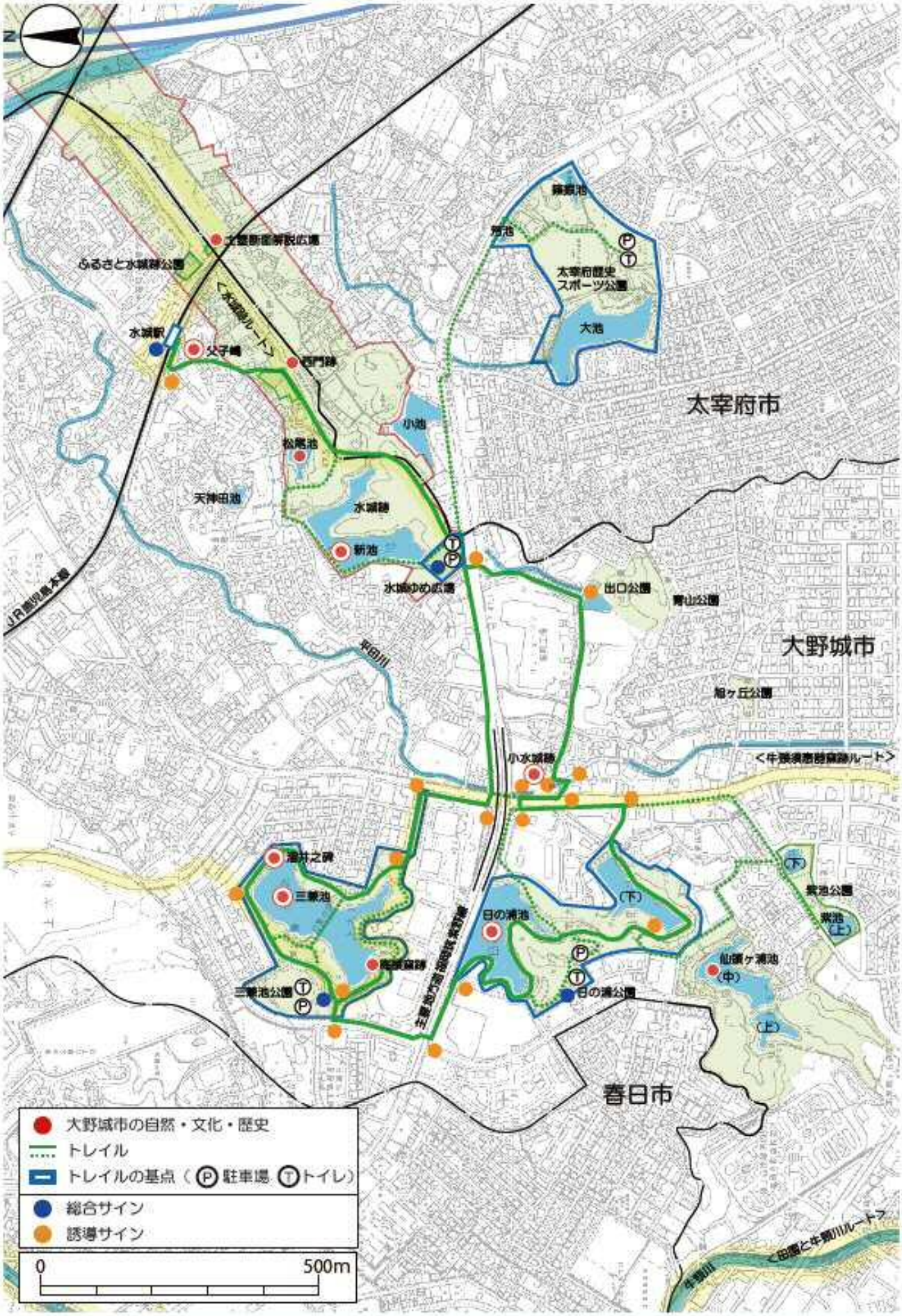
図：サイン配置計画案

「巨大な古代防衛施設・水城」（水城跡ルート）



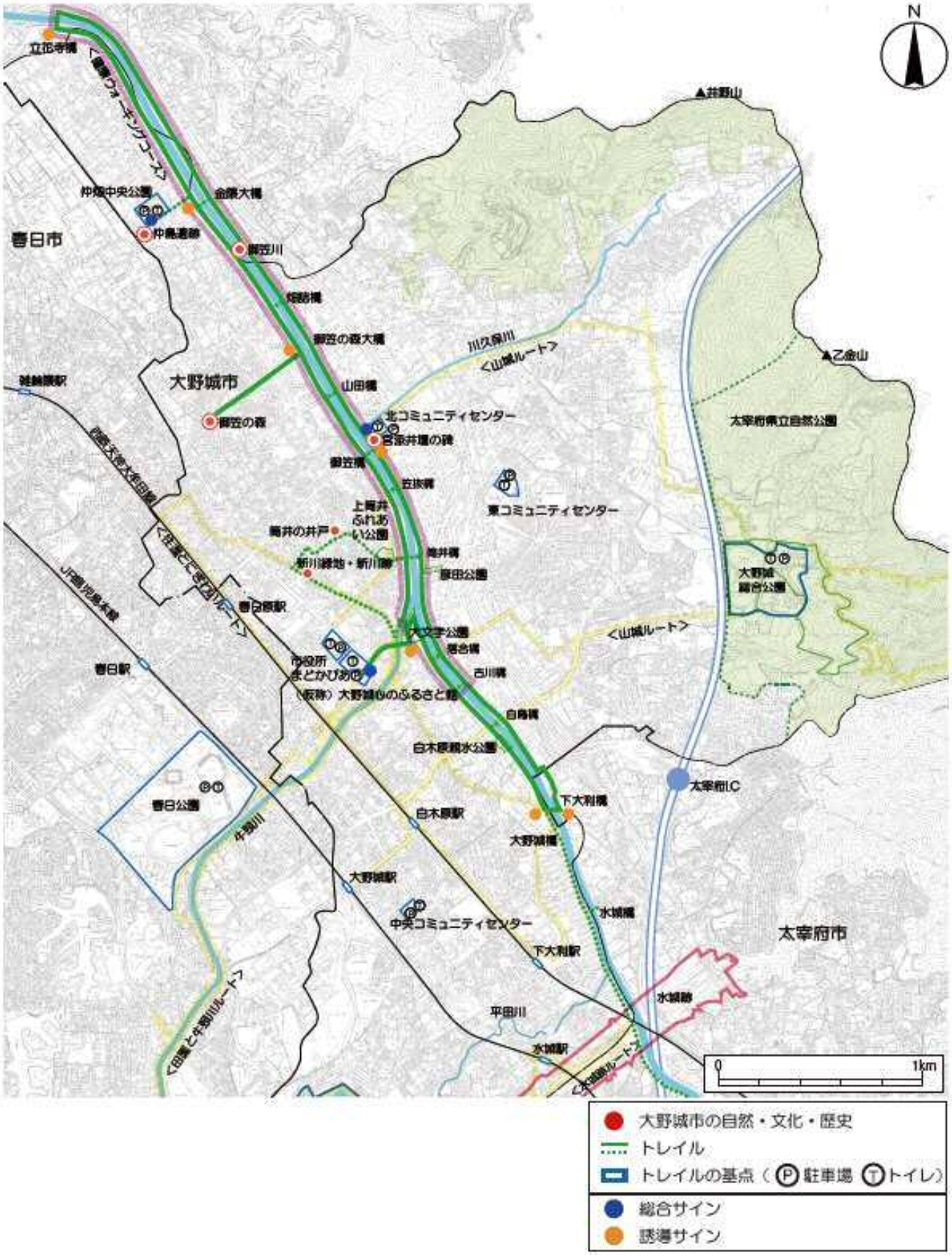
図：サイン配置計画案

「先人が築いたため池群」（ため池ルート）

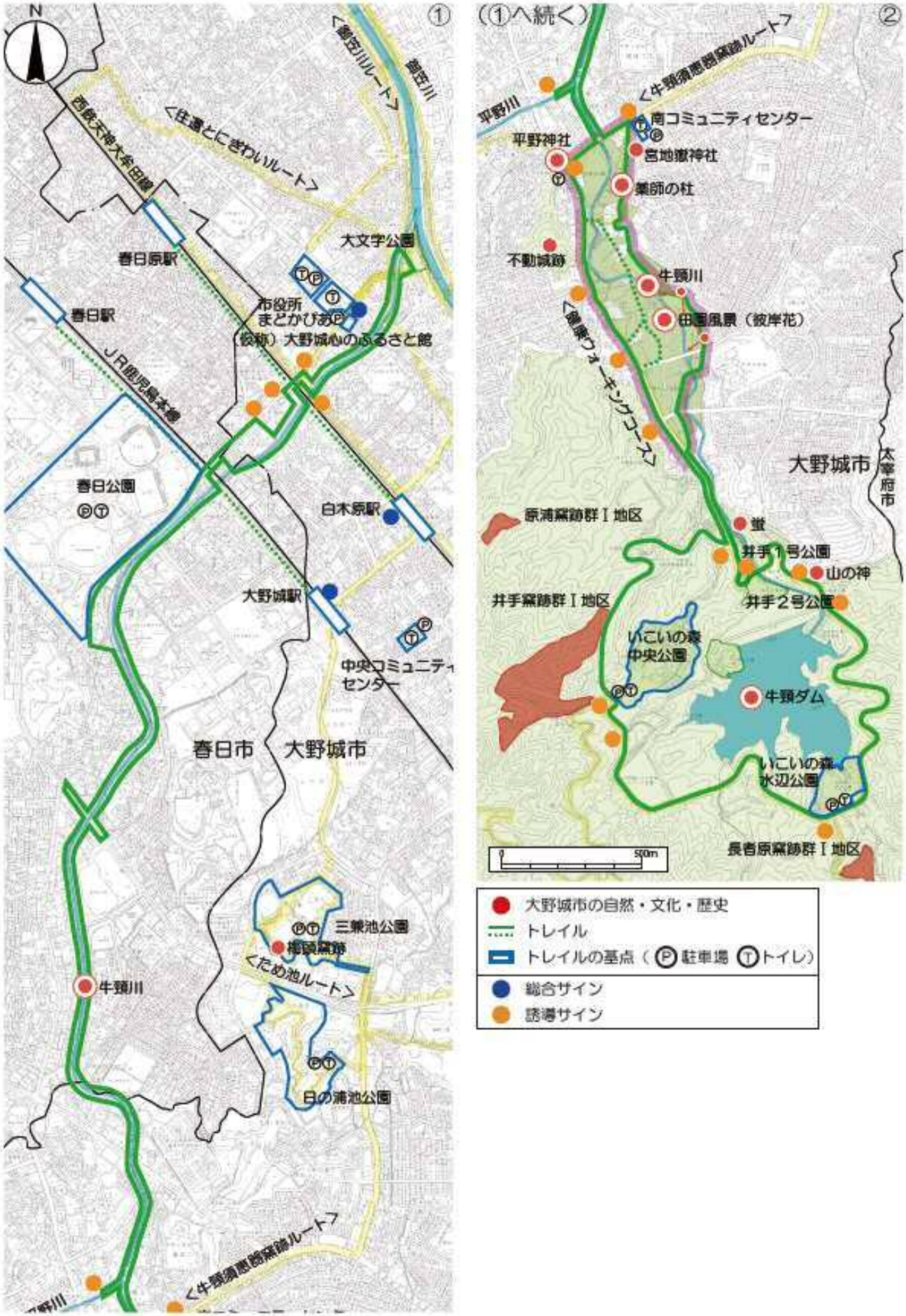


図：サイン配置計画案

「史跡を結ぶふるさとの川・御笠川」（御笠川ルート）

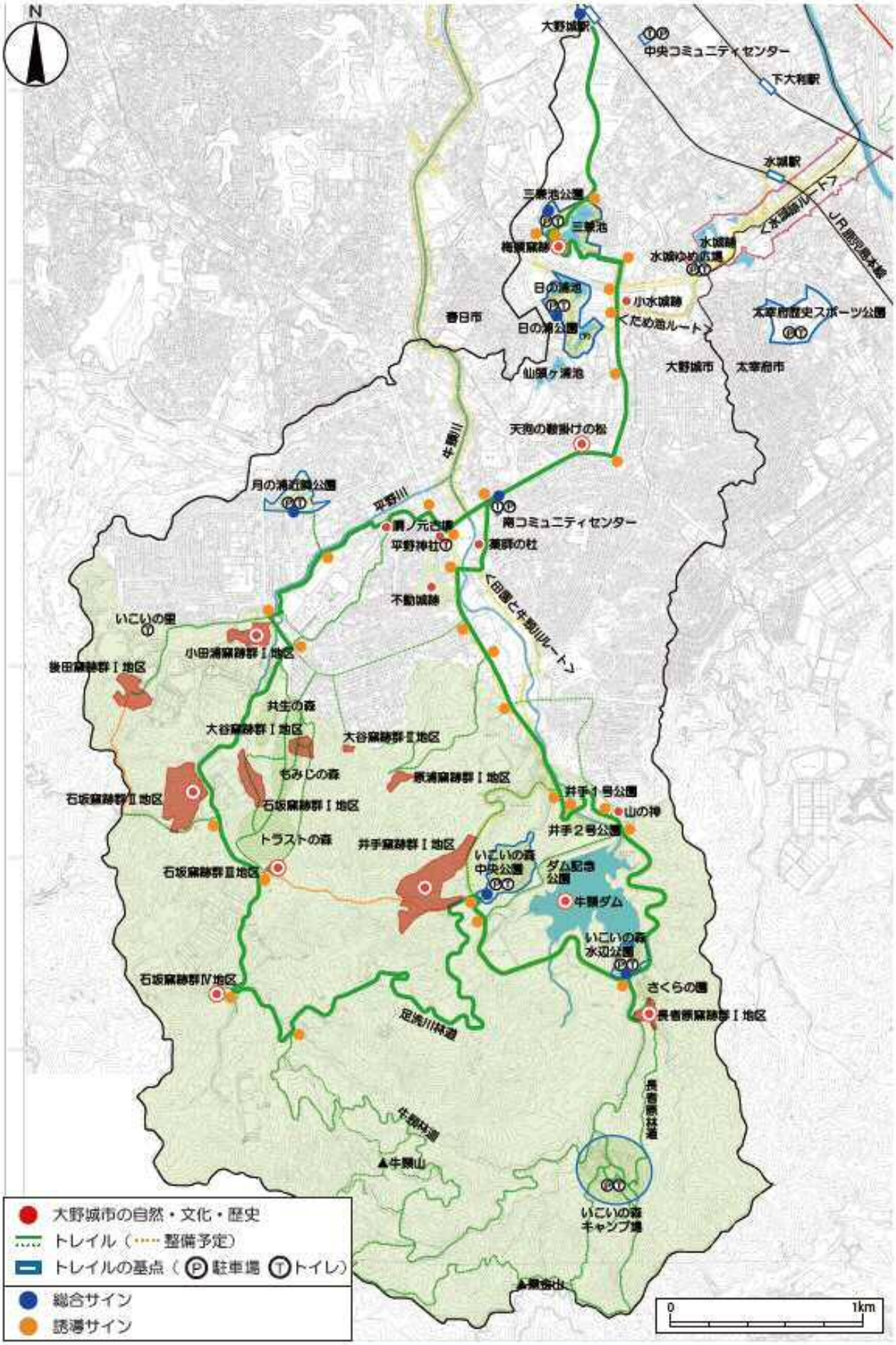


「牛頸の田園風景と牛頸川」（田園と牛頸川ルート）



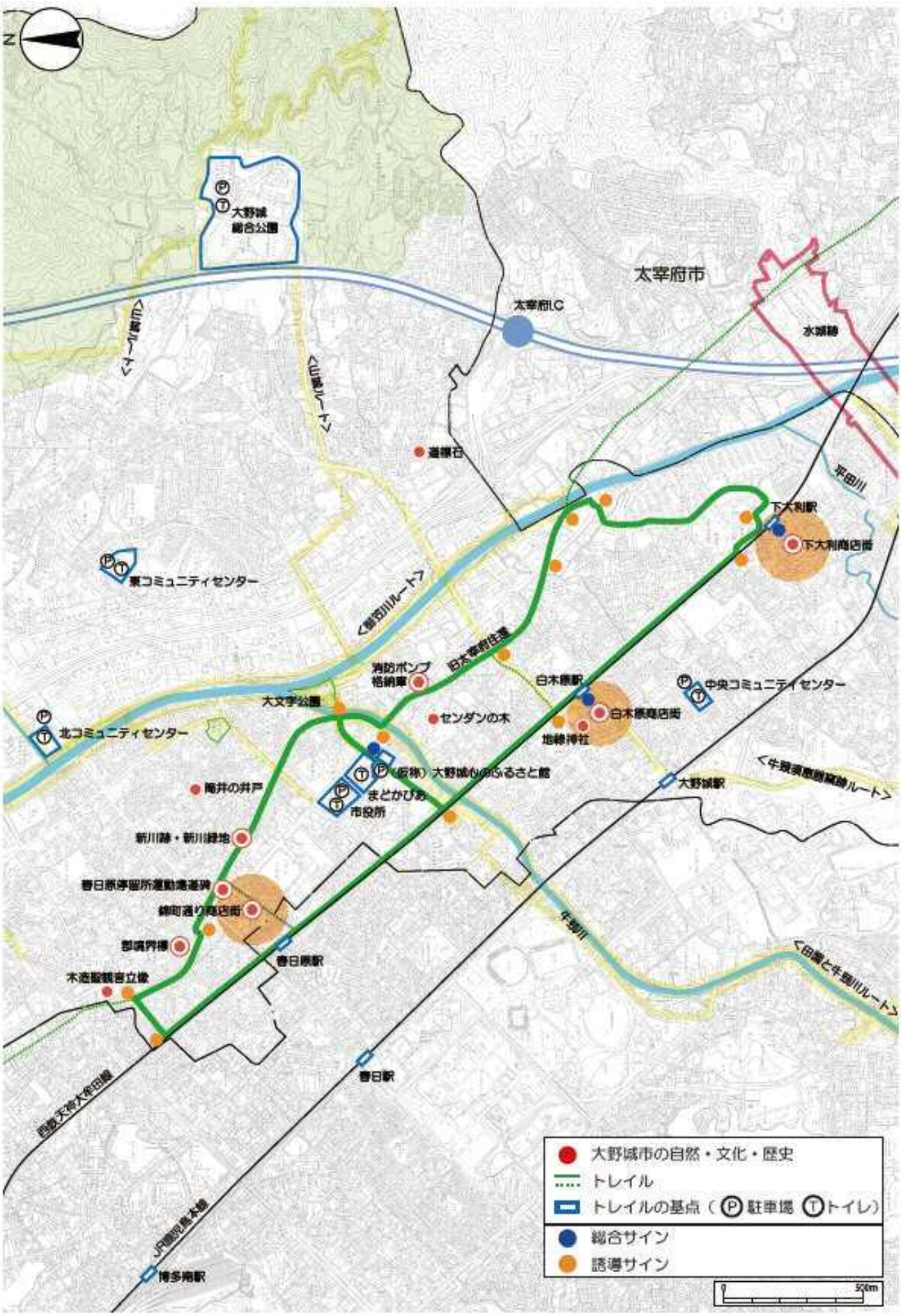
図：サイン配置計画案

「約３００年間操業された窯跡・牛頸須恵器窯跡」（牛頸須恵器窯跡ルート）



図：サイン配置計画案

「新旧のにぎわい・旧太宰府往還と西鉄沿線」（往還とにぎわいルート）

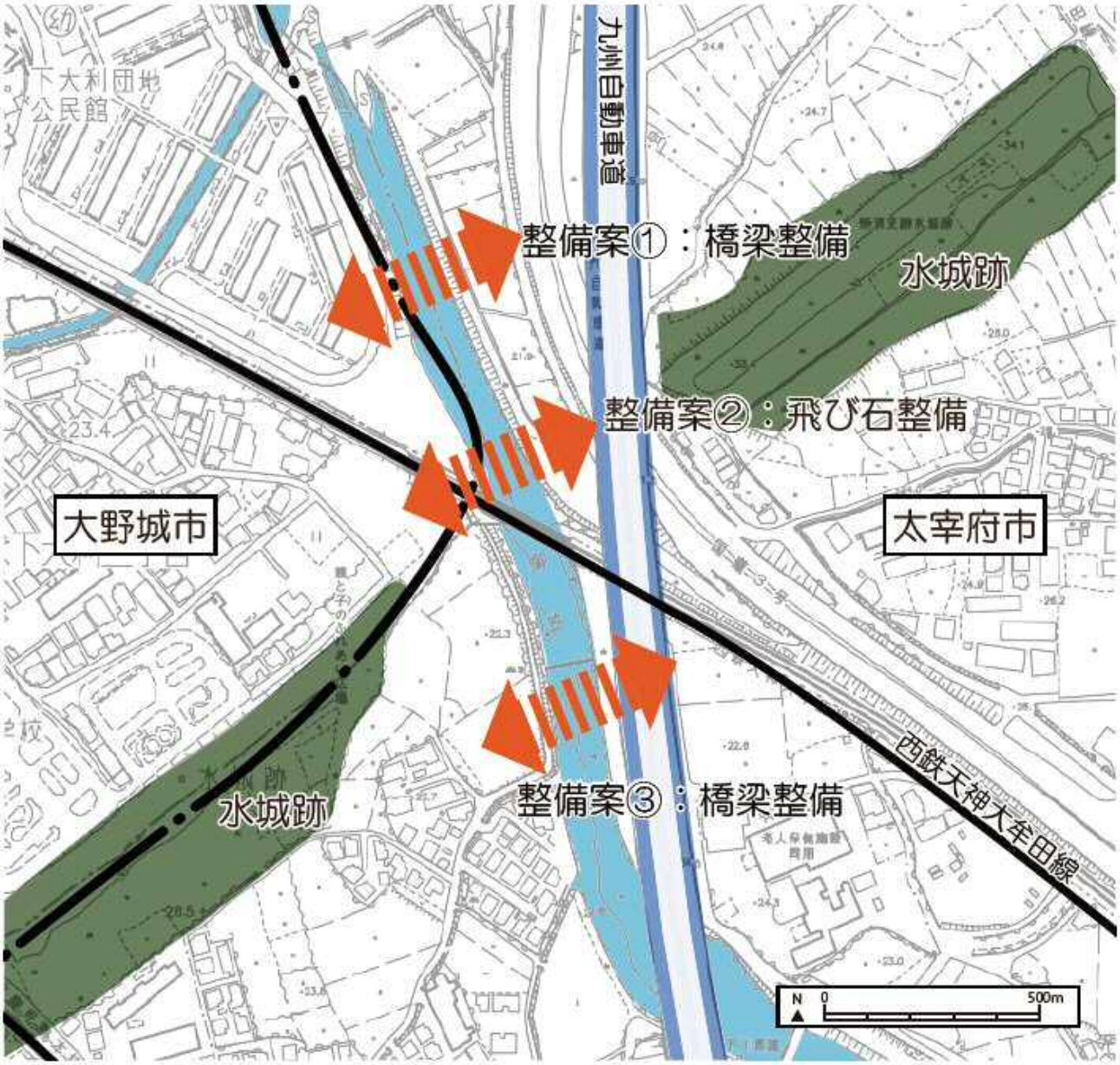


図：サイン配置計画案

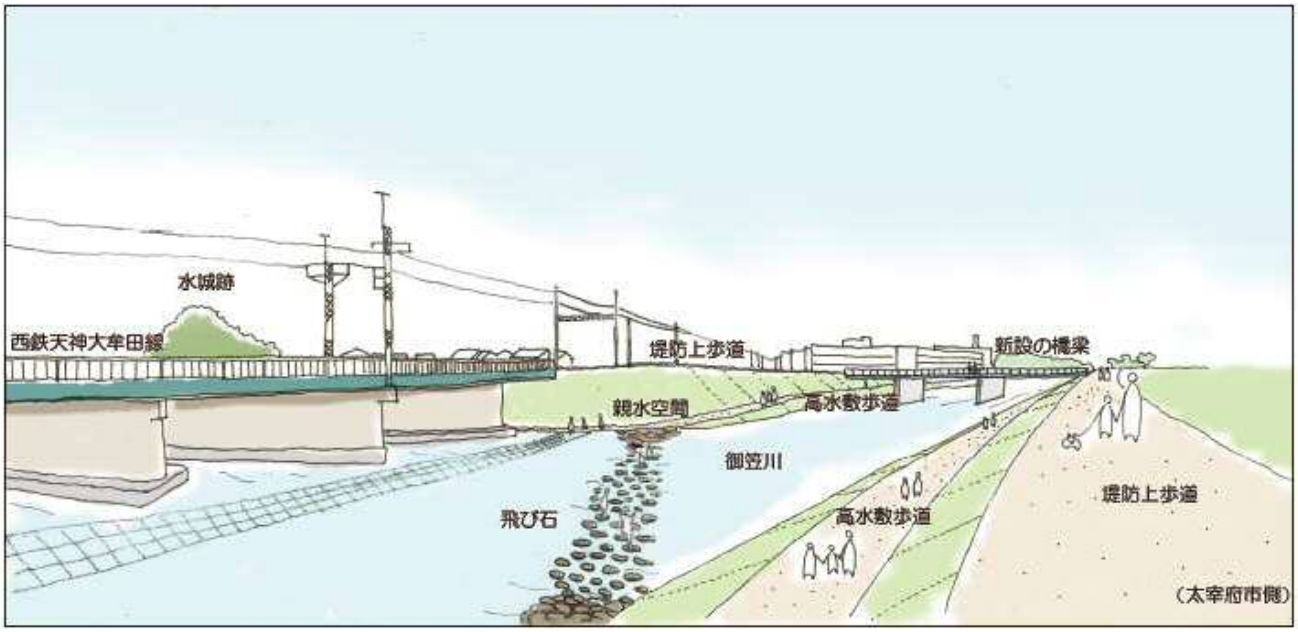
（２）御笠川を渡る水城跡のルート整備（※県等による整備等を想定）

- 御笠川で分断される水城跡を一体的に回遊できるルートを確保します。
- ルートの確保にあたっては、水城跡やその対岸からのアプローチのしやすさ、歩行者の利便性等に配慮し、以下の３つを候補と設定します。これら３案をもとに太宰府市、県との協議に取り組み、共有されるルートを設定し、その整備を推進します。整備にあたっては、水城跡の地下遺構、景観、生態系等に配慮した整備手法の採用に努めます。

- 整備案①は、水城跡北側の空地を活かし、本市と太宰府市側を結ぶ橋梁を整備する案です。
- 整備案②は、本市と太宰府市側を結ぶ飛び石を整備する案です。飛び石の整備を通して市民の憩いの場となる親水空間を創出します。
- 整備案③は、水城跡の南側の空地を活かし、橋梁を整備する案です。（※この案は太宰府市域です。）



図：御笠川を渡る水城跡のルート整備方針



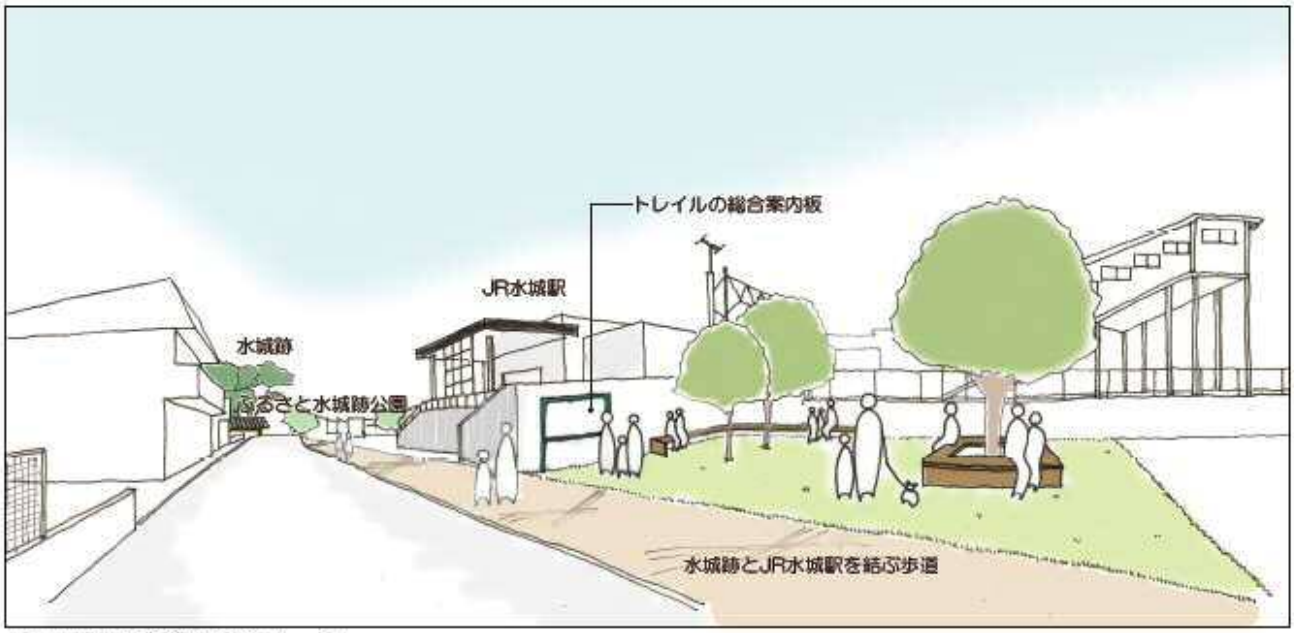
橋梁（奥）と飛び石（手前）の整備イメージ

飛び石周辺の親水空間イメージ

（３）ＪＲ水城駅前の整備

- ＪＲ水城駅方面から水城跡への良好な見通しを活かし、水城跡とＪＲ水城駅の一体感を高める駅前整備を目指します。
- 歩道や駅前広場を確保し、歩行者の安全性を高め、トレイルの回遊性を向上します。水城跡の見学者には高齢者も多いことから、歩道や駅前広場の整備にあたってはバリアフリーに十分配慮します。

図：JR 水城駅前の整備方針

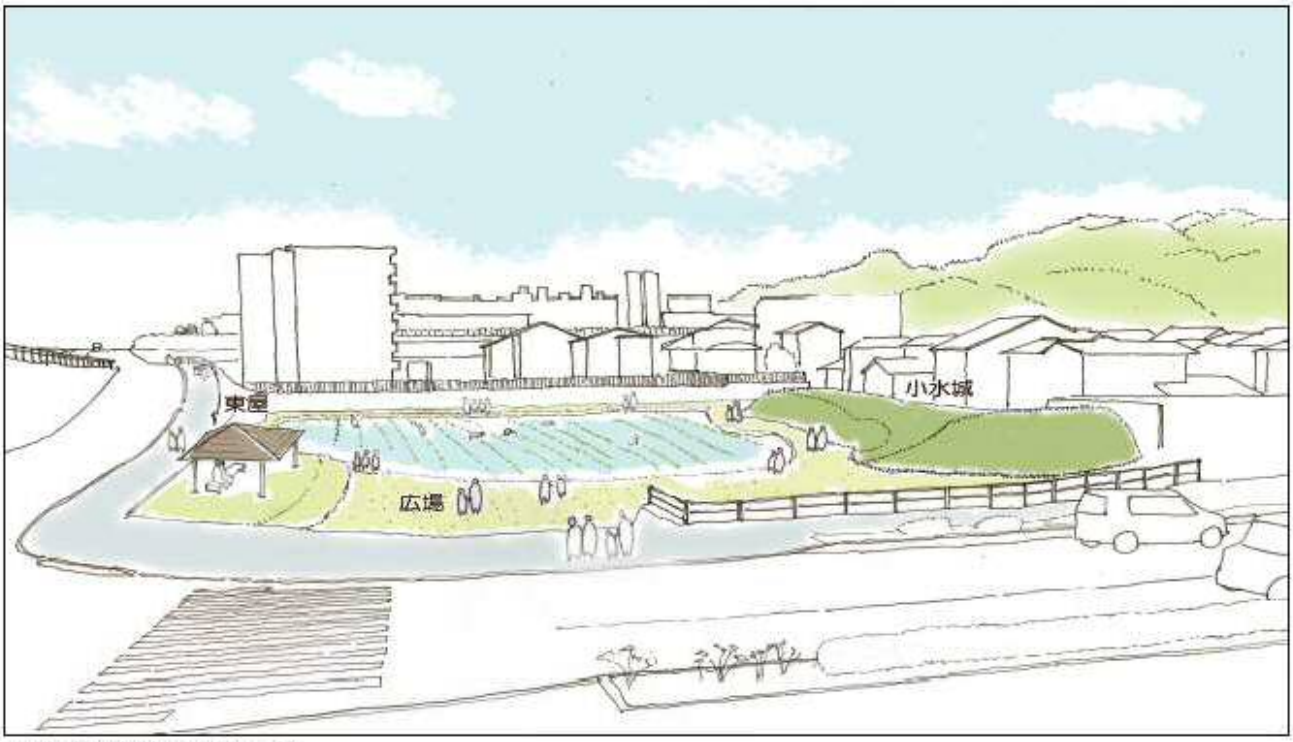


JR 水城駅前の整備イメージ

（4）小水城跡の整備

- 小水城跡の一体感を高め、市民に親しまれる整備を目指します。
- 関係各課と協力し、古代を感じるイベント広場、小水城跡を巡る園路等の整備に取り組みます。

図：小水城跡の整備方針

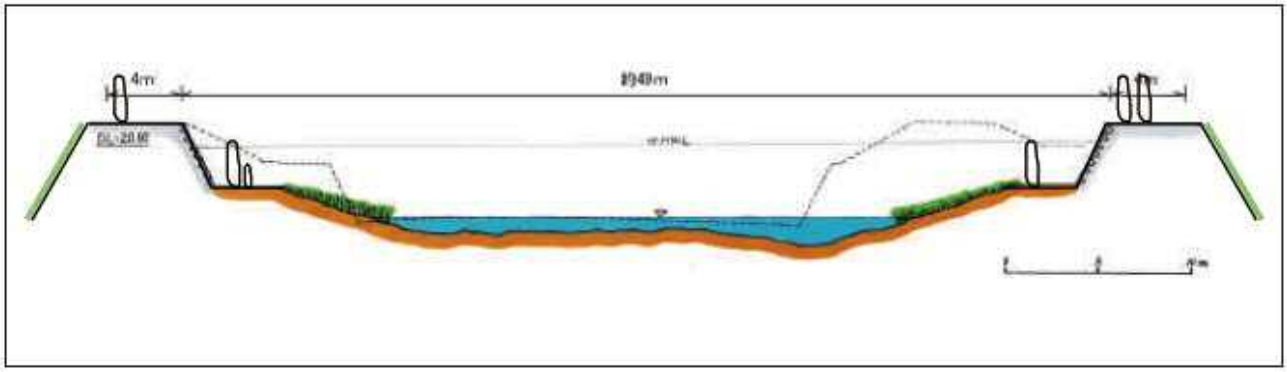


小水城跡の整備イメージ

（５）御笠川の親水空間整備（※県等による整備を想定）

- 河川敷の空間を積極的に活用し、市民に親しまれる御笠川の実現を目指します。
- 県と協力し、人々が御笠川沿いを連続して歩くことができる堤防上歩道や高水敷歩道の整備、 市民がくつろげる親水空間の整備等に取り組みます。

図：御笠川親水散策路整備方針



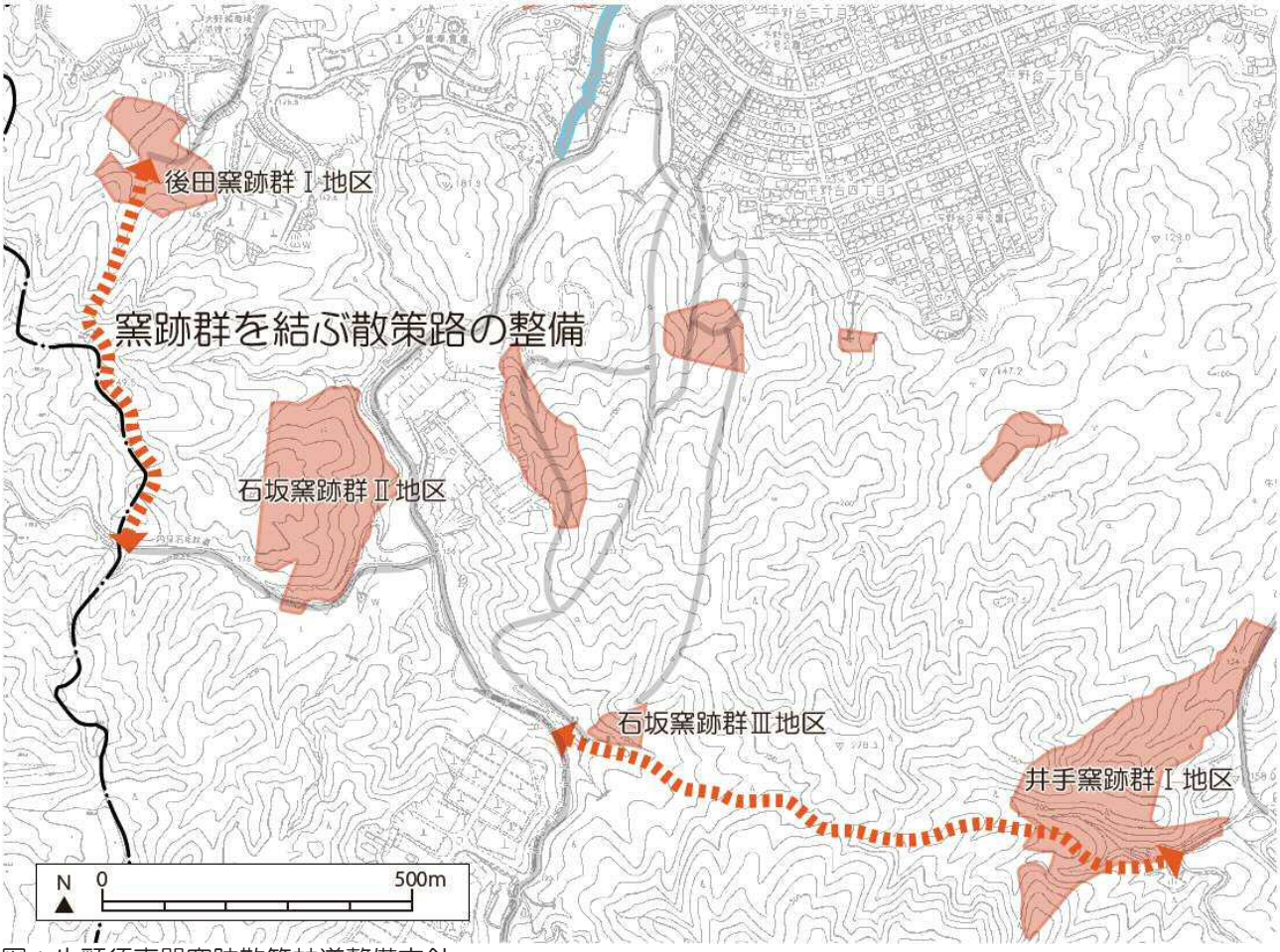
御笠川の親水空間整備イメージ（大野城橋付近）

御笠川の親水空間整備イメージ

（6）牛頸須恵器窯跡散策林道整備（牛頸須恵器窯跡整備活用計画による整備を想定）

- 牛頸須恵器窯跡散策林道整備にあたっては、特別史跡大野城跡を対象とした「（仮称）歴史をつなぐ路整備計画」における登山道の整備イメージを参考に整備します。
- 散策道の整備では、周辺の景観や自然環境に配慮し、できる限り自然素材を活用したものとします。
- 小さな子どもから高齢者の方まで、安全に歩行できるよう、できるだけ緩やかな勾配の階段や傾斜路とします。

参考）（仮称）歴史をつなぐ路整備計画登山道整備イメージ



図：牛頸須恵器窯跡散策林道整備方針

4-3 トレイルから伝える：ソフト事業

・トレイルをより多くの方に知ってもらい、実際に歩いていただくため、トレイルマップの作成し、まち歩きイベントを開催します。
・ソフト事業の内容は、ハード事業の進捗状況に併せて、遂次、見直しを行います。

（1）トレイルマップの作成

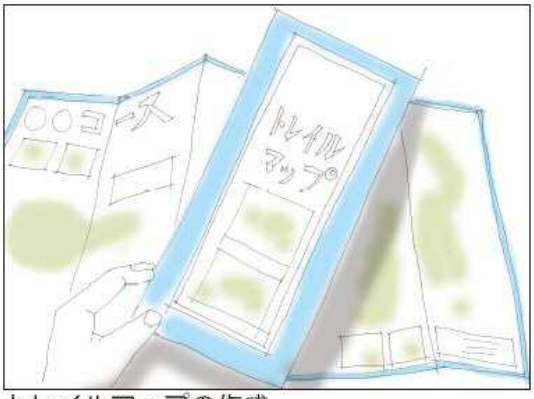
・トレイルの全体像が伝わりやすいよう全体と各テーマごとのマップを作成します。
・サインの設置と連動した内容とします。
・トレイルの参加者が持歩きやすいよう、適切な大きさで、わかりやすいレイアウトに心がけます。

（2）まち歩きイベントの開催

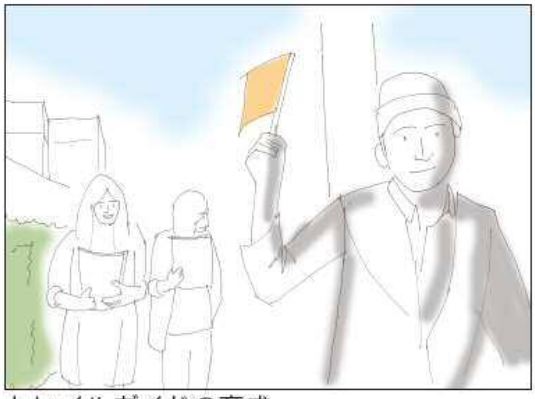
・本市の魅力を多くの方に体感していただくため、まち歩きイベントを企画、開催します。
・まち歩きイベントは、観光部局や関係団体等と連携し、「まちなかわくわくパビリオン」やその他のイベント等も活用しながら、周知と集客に努めます。
・まち歩きイベントの際は、トレイルの基点を集合場所、発着場所として活用します。
・イベントの開催に際しては、必要に応じて公共交通の活用等を検討します。
・イベントの様子は遂次、市のホームページや広報等で公開し、多くの人に活動を知っていただく機会を設けます。

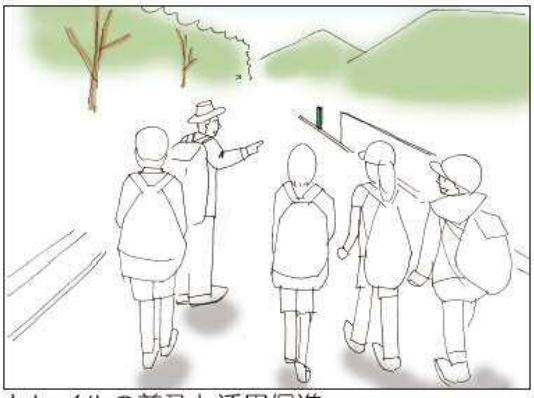
（3）トレイルガイドの育成

・トレイルを活かした取り組みを盛り上げるため、観光部局や関係団体等と連携し、トレイルガイドを育成します。ガイドの育成にはあたっては、地元の市民団体や観光ボランティア等に協力を求めます。



トレイルマップの作成


トレイルガイドの育成


トレイルの普及と活用促進

市民イベントの開催

第５章　整備プログラムの検討

・整備プログラムでは、市が主体となって取り組むトレイル関連の整備について整備計画（スケジュール）、概算事業費を検討します。

5-1 整備計画（スケジュール）

・整備については、平成 27 年度に全体の実施設計を行い、各トレイルのルートについて段階的に整備していきます。
・整備の現案としては、山城ルート・水城跡ルート・ため池ルートを平成 27 年度に着手、御笠川ルート・往還と賑わいルートを平成 28 年度に着手、田園と牛頸川ルート・牛頸須恵器窯跡ルートを平成 29 年度以降に着手する予定です。
・他方、環境整備については、ＪＲ水城駅前歩道整備を平成 27 年度に着手、小水城跡の周辺環境整備 を平成 28 年度に着手する予定です。
・水城跡、牛頸須恵器窯跡、（仮称）歴史をつなぐ路等については、個別に整備や活用に関する計画が策定されています。これらについては、各々の計画に基づき整備等が行われます。

項　　目			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度以降
ハード事業	実施設計				
		ルート整備			
		→山城ルート			
		→水城跡ルート			
		→ため池ルート			
		→御笠川ルート			
		→往還とにぎわいルート			
		→田園と牛頸川ルート			
		→牛頸須恵器窯跡ルート			
	JR 水城駅前の整備				
	小水城跡周辺の環境整備				
ソフト事業	トレイルマップの作成 （ルート整備に合わせて作成）				
	まち歩きイベントの開催 （ルート整備に合わせて開催）				
	トレイルガイドの育成				

資　料

市民からの意見募集　アンケートの概要

1.アンケート名　　「まちのおすすめスポット」
～大野城市の歴史・文化・自然・眺め～
教えてください

2.実施時期　　平成 26 年 7 月

3.実施方法

調査種別	対　象	調査数	回答数	配布・回収方法
郵送アンケート	20 歳以上無作為抽出	200	20	郵送で配布・回収
小学生アンケート	小学校 3 年生対象	950	600	学校で配布・回収
区長アンケート	全行政区	27	7	区長会で配布・使送便で回収
e―ヴォイス	e―ヴォイス登録者	121	37	メールで配布・回収
公共施設	公共施設利用者	―	22	各公共施でアンケート及び回収箱設置
職員アンケート	職員	―	8	電子掲示板で周知・メールで回収
計		1,298	694	

「まちのおすすめスポット」
～大野城市の歴史・文化・自然・眺め～
教えてください

大野城市では、みなさんから教えていただいたおすすめスポットを参考に、「(仮称)大野城トレイル」の散策ルートを検討していきます。

そこで、「みんなが知っている」「わたしだけが知っている」「多くの人に見て欲しい」など、大野城市にあるおすすめスポット（大野城市の歴史・文化・自然・眺め）を教えてください。

【例】

場所や住所：〇〇にある〇〇神社　　理由：歴史のある建物がすてきです

場所や住所：〇〇からの眺め　　理由：市内が一望できるビューポイント　など

〇 場所や住所　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

〇 理　　由　：

〇 場所や住所　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

〇 理　　由　：

〇 場所や住所　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

〇 理　　由　：

※場所や住所の記入にあたりましては、裏面の地図に場所が示せるようであれば、目印などご記入いただければ幸いです。

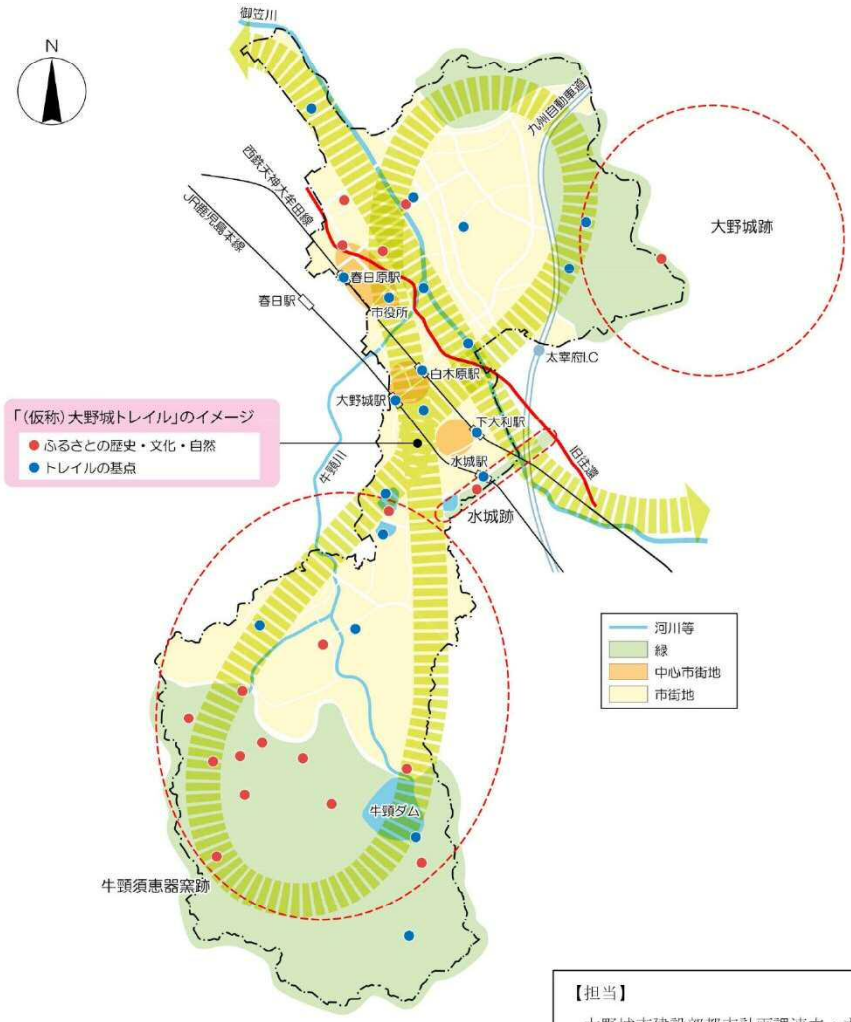
―　ご協力ありがとうございます　―

アンケート用紙（表）

（仮称）大野城トレイルとは？

「トレイル（ウォーキングトレイル）」とは、豊かな景観・自然・文化財・街並みをつなぎ、訪れた人が安全で快適に散策できるとともに、歩くことを通じて健康増進を支援し、魅力ある地域づくりを図るために整備される散策路のことです。

大野城市では、市民のふるさとに対する思いを育むとともに、地域の観光振興を目指し、駅や公共施設などを基点として、歩きながら地域の歴史・文化・自然・眺めなどを楽しめる散策路「（仮称）大野城トレイル」の整備を予定しています。



【担当】
大野城市建設部都市計画課連立・まちづくり担当
電話：092-580-1868
Fax：092-572-8432
メール：kentoshi@city.onojo.fukuoka.jp

アンケート用紙（裏）

「まちのおすすめスポット」
～大野城市の歴史・文化・自然・眺め～
教えてください

	おすすめスポットの場所や住所	おすすめの理由
公共施設等	まどかぴあ	・お祭りやいろいろなイベントがあるから。 ・図書館に本がたくさんあるから。 ・大ホールがあるから（劇がある）。 ・習い事がたくさんあるから。 ・文化発表会があるから。
	まどかパーク	・市内が一望できる。夜景が特に好きです。 ・春は桜が一望できる。 ・昼も夜も眺めが素晴らしい。 ・夜景がきれい（大濠の花火大会が見える）。 ・飛行機の旋回が横から見れる。 ・ウォーキングしている人が多い。 ・子どもからお年寄りまで利用できる。 ・グラウンドで遊べるから。 ・いろいろな運動ができる。
	大野城市役所	・昔の物がたくさんあり、7月に短冊が書ける 。 ・人がたくさんいるから。 ・お祭りやいろいろなイベントがあるから。
	市役所内歴史資料展示室	・二度程個人でお邪魔させていただきましたが、私が住んでいる辺りにたくさんの歴史的な物などがあることがわかり大変面白かったです。もっとアピールしてたくさんの方が利用するようにしないともったいないと思います。
	すこやか交流プラザ	・中が静かでゆっくり休憩ができるから。
	北コミュニティセンター	・スポーツをしたりして遊べるから。 ・これ何の木という問題があるから。 ・プールで遊べるから。 ・体育館やキッズコーナーがある。 ・ウォータースライダーが楽しいです。
	東コミュニティセンター	・みんなが楽しく遊べるから。 ・大きくて広いから。 ・雨の日でも遊べるから。
	中央コミュニティセンター	・遊ぶところがあるから。 ・建物の中がすずしいから。
	南コミュニティセンター	・みんなが使えるから。 ・人がたくさんいるから。 ・学校から近くて便利。 ・友達と一緒に遊べるものがたくさんあり、習い事もできる。 ・歩道が大きくきれいになって歩きやすい
	福岡県市町村職員研修所	・福岡市に向けての眺めが良い。

	おすすめスポットの場所や住所	おすすめの理由
公共施設等	公民館	・いろいろな物が借りられて、遊ぶところがたくさんあるから。 ・料理教室があるから。 ・受付の人が優しくて、図書館があるから。 ・行事がたくさんあるから。 ・本がたくさんあるから。 ・遊具がたくさんあるから。 ・中でも外でも遊べるから。 ・習い事があるから。 ・夏まつりやおもちつきがあるから。
	大城小学校	・見晴らしがとてもいい。
	御笠の森小学校	・コスモスをたくさん植えたから。
	下大利小学校	・大野城市と太宰府市の間にあるから。 ・運動場に山があるから。
	大野小学校	・生徒が1000人くらいいるから。
	大野東幼稚園	・楽しいから。
	リズム保育園	・リズムにのって歌うのがさわやかだから。 ・子どもたちが笑顔だから。
	のぞみ愛児園	・子どもがたくさんいるから。 ・きれいで楽しそうだから。 ・大きな木があるから。
公園	大野城いこいの森（周辺）	・全般の眺めが良く自然が良い。 ・バーベキューやキャンプもでき、川も浅くサワガニもいて、小さい子ども連れでも楽しめる。 ・自然がいっぱいで楽しい。 ・車でよく平野神社へ参り、地下水をくみ、その後ドライブしながら奥の方へ何度か言ったことがある。釣り、スポーツ、キャンプができ、近くて便利。 ・きれいに整備されている。 ・わざわざ遠出しなくても、近場でたくさんの蛍を見ることができるから。
	仲畑中央公園	・幼児が楽しめる遊具が揃っている。 ・上に登ると目の前で飛行機が見えるから。 ・公園の形が空港みたいだから。 ・遊具がたくさんあるから。
	三兼池公園（梅頭窯跡）	・噴水が夜になると定期的にライトアップされてきれい。 ・あまり派手ではないところがいい。 ・歴史を学べる。 ・楽しい遊具がある。 ・池の周りに散歩コースがある。 ・昔作られた焼き物を焼く窯の展示室がある。 ・四季の樹木草花が美しい。 ・溜井の碑で郷土の偉人を知ることができる。 ・まちの中に整備された池。公園・窯跡などがあり、一連した散歩コースに最適。 ・夜歩いた時思ったより暗く、流れ星を見たことがある。

	おすすめスポットの場所や住所	おすすめの理由
公園	日の浦池公園	・自然いっぱいで散歩もでき、子供連れでも楽しく遊ぶことができる。 ・池の周りをのんびり一周できます。
	どんぽの森公園	・自然がたくさんあるから。 ・生き物がたくさんいるから。 ・歩くと自然がいっぱいで空気がきれいだから。 ・かわいい鴨の親子がいます。 ・東コミから近く、季節の花やカルガモがいてよかった。
	東部中央公園	・気持ちの良い風が吹いてくるから。 ・友達や家族と来て思い出がたくさんあるから。 ・広くて自然がいっぱいあるから。
	大文字公園	・芝生があって気持ち良い。 ・祭りがあるから。 ・緑がたくさんあり、川の眺めがきれいだから。
	月の浦近隣公園	・魚や亀がいるから。 ・散歩ができるから。 ・春になると桜がきれい。
	錦町公園	・階段を上がった高台にあり、広々としていて眺めが良い。 ・大野城都心のビュースポット。 ・たくさんの遊具があるから。
	月見が丘公園	・広くてサッカーができる。
	光ヶ丘公園	・いろいろな遊びができるから。 ・広くて座るところもあるから。
	仲島公園	・ブランコやすべり台があるから。 ・みんなで遊べるから。 ・お年寄りも楽しめるから。
	巡町公園	・ブランコが気持ち良い。
	上筒井ふれあい公園	・大きな広場があるから。
	日の出公園	・あまり人がいないから。
	つつじヶ丘近隣公園	・グラウンドが広いから。
	大浦池公園	・ネコの山、ぐるぐるすべり台。 ・かもや亀がいてきれいだから。
	つつじヶ丘中央緑道	・いろいろな遊びができるから。 ・夜景がきれい。
	旭ヶ丘公園	・広いから。
	石坂公園	・遊具が木でできているから。
	桜公園	・春になるとたくさんさくらが咲いていてとてもきれいだから。 ・ターザンロープがあるから。 ・散歩道がある。
	水辺公園	・景色がきれいだから。
	きじがお公園	・タイヤでグルグル回る遊具があるから。
	かまぶた公園	・うんていがあるから。
	白木原親水公園	・花がきれいだから。 ・自分達で植えた花がきれいに咲いているから。
	下大利児童の遊び場	・周りに花があって、人もいっぱい来て、はじめて会った人ともすぐに友達になれるから。

	おすすめスポットの場所や住所	おすすめの理由
公園	下大利くすのき公園	・七夕祭りがあるから。
	下大利団地内の公園	・いろんな遊具があって、砂場があるから。 ・人が多くてにぎやかです。
	乙金台中央公園	・公園の周りに梅の木が41本あり、毎年2月には花が咲き中旬には区主催の「梅祭り」が開催されまた、6月上旬には大野東中の生徒が梅の実ちぎりに参加する。
	横峰公園	・階段がきれいに整備されており、小さい子どもでも川遊びができる。
	新川緑地	・環境が良い。大野城の江戸時代の様子がしのばれる運河の説明等があり、好きなスポット。歩くと気持ち良い。 ・みどりや花がいっぱいで、歩きやすい遊歩道になっている。
歴史	大野城跡	・日本最古の山城で1300年以上前に作られたから。 ・遠くや大野城市が見えるから。 ・昔の山城で、昔のものなどが残っているから。 ・大野城の名前の由来が理解できる。
	水城跡	・日本人を守ったから。 ・歴史を学べる。
	小水城跡	・歴史を学べる。
	各区にある神社	・歴史のある建物である(歴史散策)。
	平野神社	・大きな木がたくさんある。 ・夏に「およど」という夏祭りがあって楽しい。 ・お年よりはゲートボールをして楽しんでいるし僕たち子どもも鬼ごっこやボール遊びができて楽しい。 ・天狗で有名、歴史を感じる。
	筒井宝満神社	・大きな木が歴史を感じる。
	乙金宝満神社	・昔の絵馬があってすごい。 ・とても静かで自然があるから。 ・お参りをしたらいいことが起こるから。 ・四大絵師の絵がある。
	下大利老松神社	・遊具があって楽しい。
	上大利老松神社	・大きな木がある。 ・さくらがきれい。
	畑詰地禄神社	・「地禄」は本社名ではなく、この地方特有の名称。祭られている埴安命は農耕神としては珍しい、土を司る神様。周辺に窯跡があることも合わせると、古代の祭祀の名残を感じさせる。御笠の道すぐ側で寄り道しやすい。
	瓦田地禄神社	・趣き深い（以前CM撮影も行われた）。
	雑餉隈町の神社と観音様	・古い文化財が近くにある。
	毘沙門天	・１年に１度午前中しか開いてない。
	雉子ヶ尾古墳	・昔の人のお墓で、今と作り方が違う。
	中・寺尾遺跡	・弥生時代のお墓と集落の遺跡で貴重なものと思います。他にヒケシマ遺跡や森園遺跡がある。
	梅頭窯跡	・きちんと整備されている。

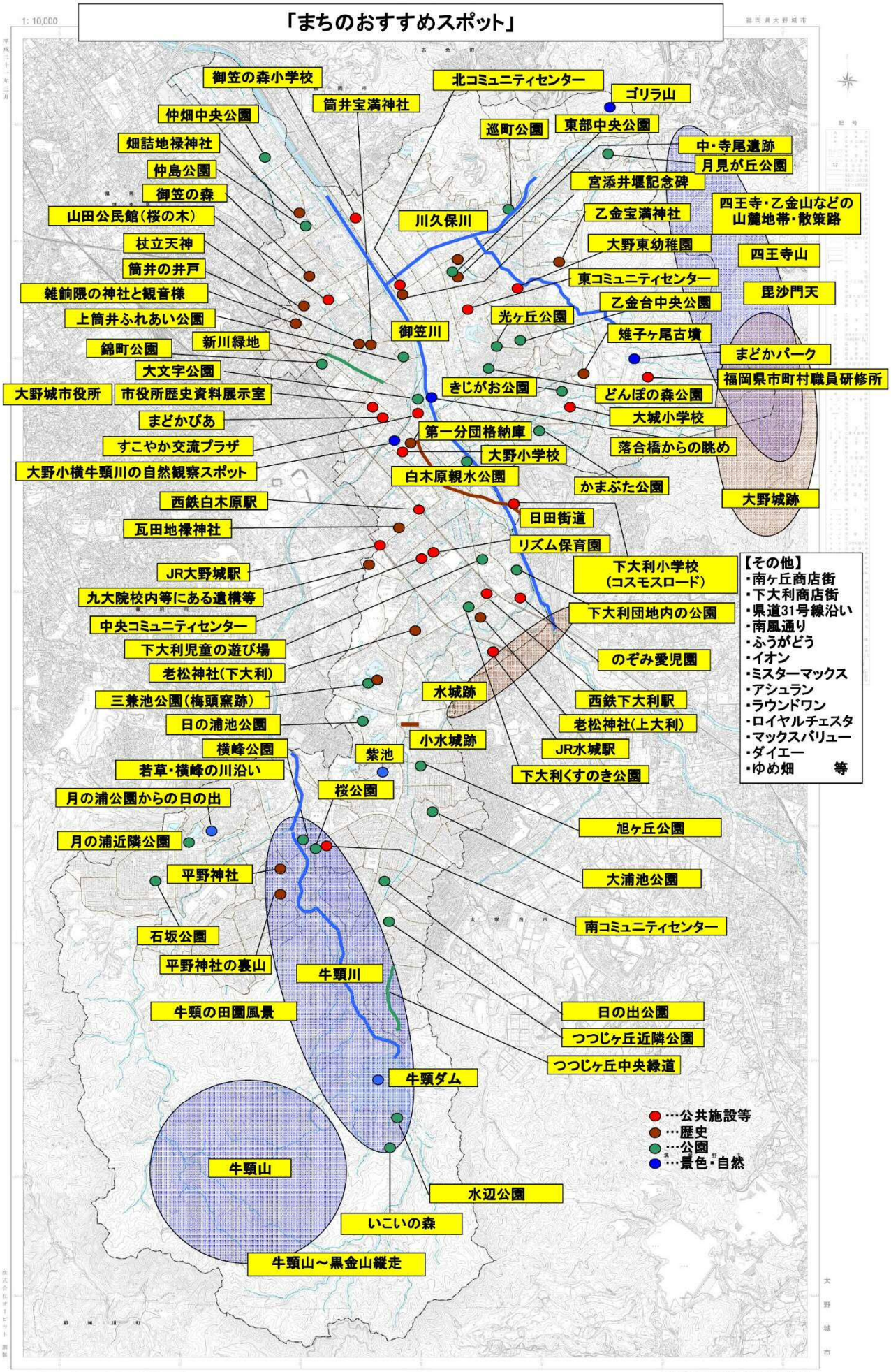
	おすすめスポットの場所や住所	おすすめの理由
歴史	御笠の森	・いろいろな種類の木がたくさんあるから。 ・昔からあるから。 ・歴史的な歌碑、地元有志により整備され、歴史散策のひとつではないかと思われる。
	筒井の井戸	・歴史的、構造的に価値がある。
	杖立天神	・大野城市に菅原道真に由来のある史跡があることを市のHPなどを調べていて知りました。個人宅内にあり勝手に見学はできないとのことでそれが逆に興味をそそります。御笠の森とともに歴史的におもしろい話として紹介してほしいです。（あまり知られていないのではと思う） ・大野城市史で紹介、道真公が祀られている。
	宮添井堰記念碑	・宮添井堰の人柱(通称ひんど)と火の玉の伝説。
	瓦田、白木原、筒井の米軍ハウス、又九大院校内等にある米軍の遺構等	・昭和30年代の日米の文化のあり方を知る貴重な財産（あと10年もすればほぼハウスは取り壊されるだろうし、そこで働いた人、又子どもたちの生活との関係もわからなくなる。）
	第一分団消防格納庫	・第一分団に所属する行政区は北地区の7区で活動等歴史を感じる。
自然・景色等	四王寺山	・大野城物語タスケ岩の伝説にちなんで、私のコースは総合グランドから駐車場経由、音楽堂の近くの特別史跡大野城跡、百間石垣とタスケ岩の巨石巡りもいいと思います。ゆっくり歩いて約2時間、所々で市内を見渡せるとても良い場所です。市内を一望でき、高速道路を走る車のライトなどとてもきれい。 ・夜景と桜が美しい。特に神戸から訪れた友人はこの夜景は六甲の夜景より美しいと絶賛した。 ・大野城市の歴史を垣間見ることができる ・大野城市や周辺も街が一望できる ・新緑、紅葉がきれい。 ・飛行機が着陸できるところが見れる。 ・山の中に川があって、景色がきれい。 ・春にはお花見ができるから。 ・登ると気持ち良い。 ・大文字まつりのときに「大」という文字が電気でつくから。 ・ここからの眺望がいい。
	大野城跡（途中の四阿）からの景色	・そこまで高くない所から市内が見渡せる。 ・夜景がきれい。
	牛頸山	・学校からも牛頸山が見える。 ・お姉ちゃんが４年生になったら登ると言っていて、山の中がどんな様子なのか楽しみ。 ・博多湾、水城跡、四王寺山が一望できる。 ・近場でトレッキングができる。
	ゴリラ山	・景色が良い。

	おすすめスポットの場所や住所	おすすめの理由
自然・景色等	大野城市総合体育館（周辺）からの眺め	・夜景がきれい。 ・樹芸の森を通って、24カーブに抜ける山道（途中に東屋から市内・タワー・能古島・那珂川の山まで見える）。 ・紅葉・落ち葉・桜・新緑を踏みしめながらハイキング気分が味わえる。 ・大野城市が見渡せる。 ・飛行機が着陸できるところが見れる。
	平野神社の裏山	・階段があり、登り下りはキツイかもしれませんが、中間地点にあるほこらを見るとほっこりします。昔よく遊びに行きました。 ・平野神社の裏山に神社の本殿があり、登れるようになっている。
	四王寺・乙金山などの山麓地帯・散策路	・大野城市を中心に福岡方面までの展望がすばらしい。 ・春の桜は絶景。 ・弥生・古墳時代の遺跡が多く、古代史の道跡が段々と消滅していくのが残念（せめて語り継いでほしいと思う）
	牛頸山～黒金山縦走	・牛頸山頂の眺めも良い。縦走するにもアップダウンがちょうど良い。（距離も）
	御笠川	・川沿いの歩きながら子どもと飛行機を眺めたり川の生き物を見たりするのが好きです。 ・カルガモの親子がいます。 ・水がきれいで自然がいっぱいだから。 ・流れる水の音がきれいだから。 ・川を見ているといい気持ちになる。 ・夕焼けがきれい。 ・季節を感じながら散策できる。 ・シルバー人材センター付近の桜並木がきれい ・ランニングする時とても走りやすく、また吹いてくる風が心地よい。朝日がきれい。 ・のんびりゆっくり歩いてもをウォーキングとして速足で歩いても、ジョギングでも良し。コミュニケーションも生まれる。 ・早朝や夕方はのんびりと散歩できる安全な場所 ・ランニング、散歩には良い場所。福岡空港離発着の航空機を間近に望める。 ・桜の時期、花見しながらの散歩が素敵です。 ・川からの風に吹かれて散歩も気持ちいいし、結構距離があるのでサイクリングのおすすめ。 ・御笠川のゆったりとした水の流れ、野の花、四王寺山の眺めがよい。
	牛頸川	・自然がたくさんあって景色が良いから。 ・学校の近くを流れているから。 ・所々階段があって下に降りられるようになっている。 ・小さな魚がいて橋の上から見てとてもきれい。 ・牛頸川の周りの遊歩道に桜の木があって、春はとてもきれい。 ・ホタルが飛び交い、ホタルの放つ光がきれい。 ・大野城の代表的な初夏の風物詩のひとつ。

	おすすめスポットの場所や住所	おすすめの理由
自然・景色等	川久保川	・散歩をすると風が気持ち良い。 ・距離表示があり、歩道の幅も確保されていて歩きやすい。 ・散歩ができるから。 ・川に生き物がたくさんいるから。
	若草Fコープ横の川沿い	・桜の頃は更に見事な景色
	瓦田3丁目の郵便局(筑前大野)、ＪＡ(大野城)を通る日田街道	・江戸時代･明治･大正･昭和の人々の生活・旅・文化の掘り起こしで、すばらしい大野城の発見となるだろう。
	落合橋から下流を見る景色	・開けているのでかなり遠くまで見渡せてとても気持ちがよく大好きです。河川敷脇に整備された道は私のランニング（ウォーキング）コースになっています。
	月の浦公園からの日の出	・冬場の早朝が素敵です。
	いこいの森	・ロードレースがあっていろいろな人たちが走れるから。 ・自然があってとても静かだから。 ・広くて空気が気持ちいいから。 ・キャンプ場があるから。 ・川がきれいだから。 ・天気のいい日に行くと景色がいいから。 ・静かで心が落ち着くから。 ・涼しくて眺めが良いから。 ・大野城全体が見渡せるから。 ・水遊びができるから。 ・夏は噴水が気持ちいいから。 ・とても長いすべり台があるから。 ・鳥の声が聞こえるから。 ・夜景がきれいに見える。 ・飛行機の旋回が横から見れる。 ・パターゴルフが安くて楽しい。
	牛頸ダム	・自然がたくさんあって景色が良いから ・牛頸ダムには水がたくさんある ・周回道路から見るダムや牛頸山の紅葉がきれい ・公園もあり、景色もいい ・森林浴が楽しめる ・桜がきれい ・ホタルの生息地です。シーズンになるとホタルの灯りが無数に見えます。 ・自然豊かで空気が澄んでいる。 ・ピクニックができる。 ・空気が澄んだ時燃えるような夕陽になり、空港から離陸した飛行機がコラボしたシーンは感動ものです。 ・周回道路の春の桜がきれい。
	紫池	・生き物がたくさんいるから。
	山田公民館の桜の木	・来館者の心が癒される見事な桜の花です。
	牛頸田園風景	・川を中心に広々した景色。
	大野小横牛頸川の自然観察スポット	・牛頸川の河川整備がされてから子どもたちが川に入って魚釣りをしたり、夏場の良スポット。

	おすすめスポットの場所や住所	おすすめの理由
自然・景色等	若草・横峰（川沿い）	・散歩・サイクリングに最適。 ・遊歩道に花が咲く。
	下大利団地沿いの歩道	・春～秋、季節によって花や緑が楽しめて、木陰で一休みもできる。
	瓦田地禄神社周辺	・レンゲの花がきれい。
	下大利小学校周辺のコスモスロード	・花がいっぱいあってきれいだから。 ・コスモスが風にゆられておどっている感じがするから。 ・下大利小学校のみんなが育てていてきれいだから。
その他	南ヶ丘商店街	・いろいろなお店がるから。
	下大利商店街	・店がたくさんあって、人が優しい。
	南風通り	・お店が多いから。
	ふうがどう	・お菓子や文具があって子どもに人気。
	アシュランのバードハウス	・鳥を見られる。 ・鳴き声を聞ける。
	イオン	・いろいろなお店が集っていて便利だから。 ・たくさん人がいるから 。 ・いろいろな物が買えるから。
	ミスターマックス	・いろんなものがある。
	ラウンドワン	・家族でボーリングができて賑やかだから。
	ロイヤルチェスター	・豪華で景色が良い。
	マックスバリュー	・お菓子を買えるから。
	ダイエー	・たくさん物があるから。
	ゆめ畑	・地元の特産品や新鮮な野菜が買える。
	県道３１号線沿い	・車がよく通って、お店もあって賑やかだから。

「まちのおすすめスポット」



大野城トレイル
～自然と歴史の散策路～
基本計画

平成 27 年３月

編集・発行：大野城市建設部都市計画課
福岡県大野城市曙町２丁目２番１号
編集・協力：株式会社都市環境研究所九州事務所